無線クライアントユーティリティ

詳細設定ガイド

Y613-90018-00 Rev.B

はじめに

無線クライアントユーティリティは、コレガ製無線LANアダプタ用の無線接続ソフトウェアです。本ソフトウェアを利用することによって、無線LANネットワークの構築や無線セキュリティなどの設定が可能となります。
コレガ製品に関する最新情報（ソフトウェアのバージョンアップ情報など）は、コレガホームページでお知らせしております。

http://corega.jp/

無線クライアントユーティリティの概要

無線クライアントユーティリティには次の機能があります。

WPS(Wi-Fi Protected Setup)で簡単接続

WPSに対応した無線ルータと接続するときは、無線ルータのボタンを押したあと、ユーティリティ画面のボタンをクリックするだけで、設定が完了します。

さまざまな無線セキュリティ機能

強力な暗号化ができるWPA2/WPA、ゲーム機などにも採用されているWEP、主に企業内で使用される802.1X認証など、さまざまな無線セキュリティに対応しています。

プロファイル管理機能

ネットワークの接続設定を「プロファイル」に保存できます。ノートパソコンを自宅と外出先で使うなど、環境に合わせたプロファイルを保存しておくことで、再設定することなくすぐに接続できます。

アクセスポイントモード(対応機種のみ)

インターネットに接続できるパソコンと無線LANアダプタがあれば、ゲーム機をインターネットに接続できます。

本書の読み方

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号について

	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。		補足事項や、参考となる情報を説明しています。

表記について

本ソフトウェア	無線クライアントユーティリティを指します。
「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
[　　　]	[　　　]で囲んである文字は画面上のボタンを示します。 例： OK →[OK]
Windows Vista	Microsoft® Windows Vista™ Home Basic、 Microsoft® Windows Vista™ Home Premium、 Microsoft® Windows Vista™ Business および Microsoft® Windows Vista™ Ultimate
Windows XP	Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system および Microsoft® Windows® XP Professional operating system
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system
Windows 98SE	Microsoft® Windows® 98 Second Edition operating system

※本書では、複数のOSを「Windows Vista/XP」のように併記する場合があります。

イラスト、画面について

本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

目次

1 無線ネットワークへの接続

インストール手順

無線クライアントユーティリティをパソコンにインストールします。インストールを開始する前に下記の注意を必ずお読みください。

・現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。
・ウィルス対策ソフトやセキュリティ対策ソフトがパソコンにインストールされている場合は、CD-ROMが起動しない場合があります。一時的に対策ソフトを停止してからCD-ROMを起動してください。なお、対策ソフトの停止方法については、各ソフトウェアメーカにお問い合わせください。

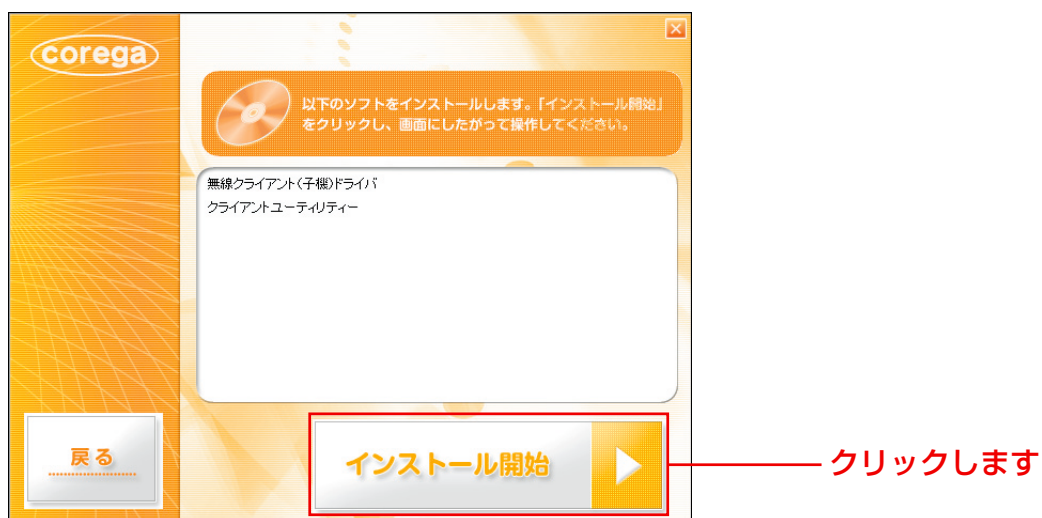
1 ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットします。

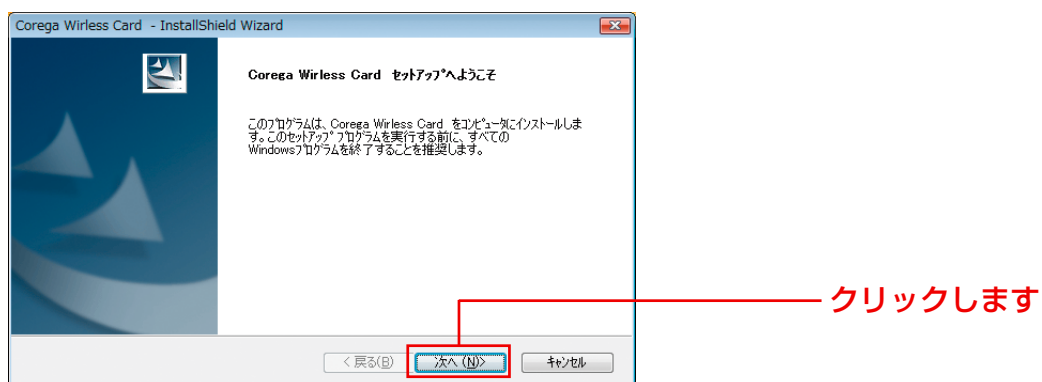
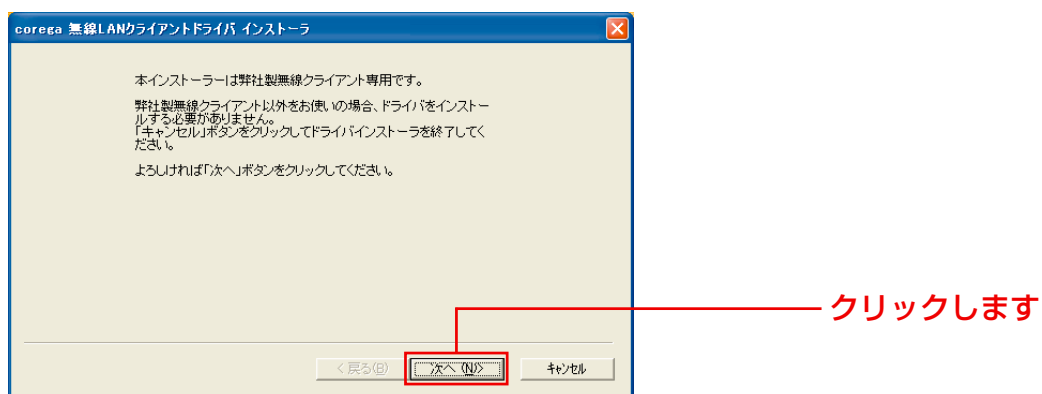
Windows XP/2000の場合は、手順3に進みます。

2 Windows Vistaの場合、次の画面が表示されます。「setup.exeの実行」をクリックします。

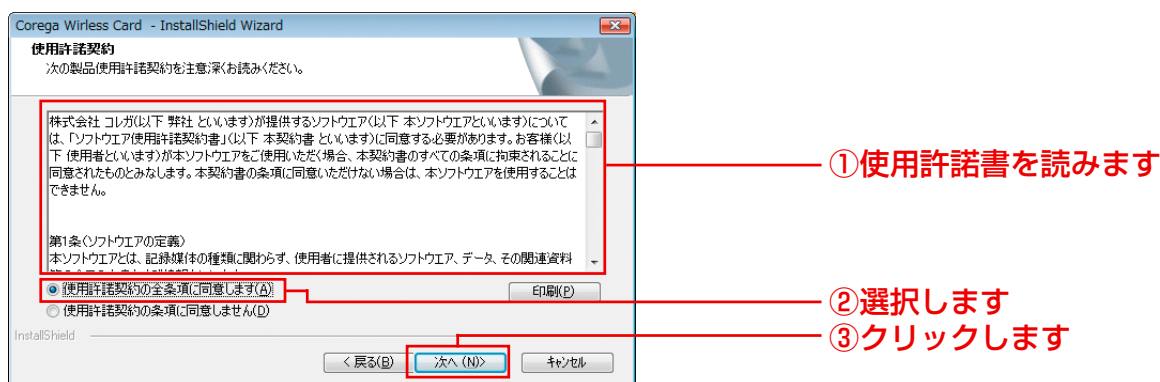
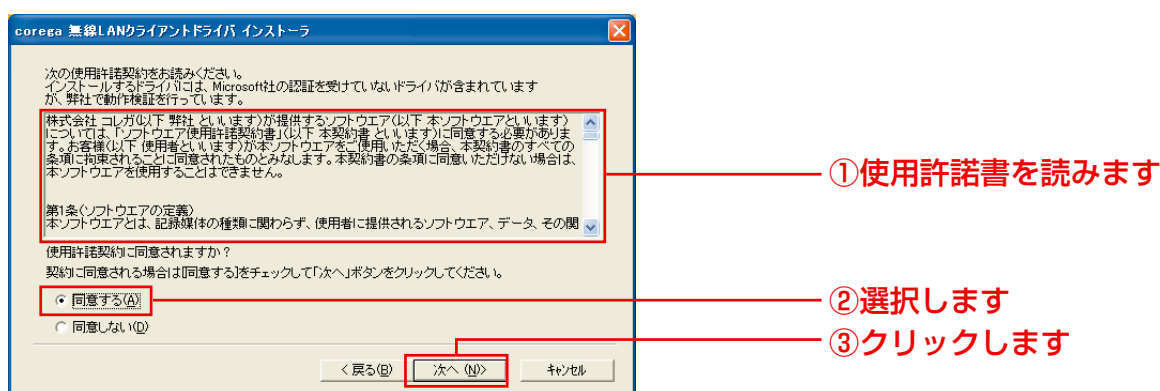
引き続き「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「許可」をクリックします。

3 次の画面が表示されます（しばらく待っても表示されない場合は、「マイコンピュータ」のCD-ROMのアイコンをダブルクリックしてください）。[かんたんスタート] をクリックします。

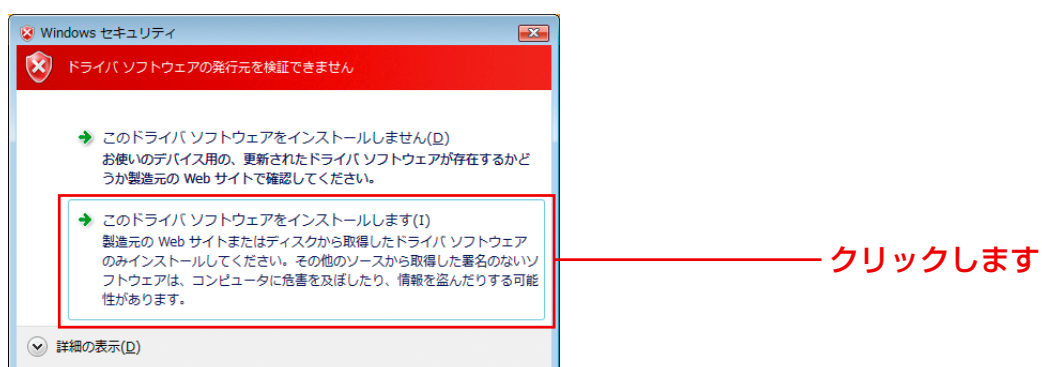
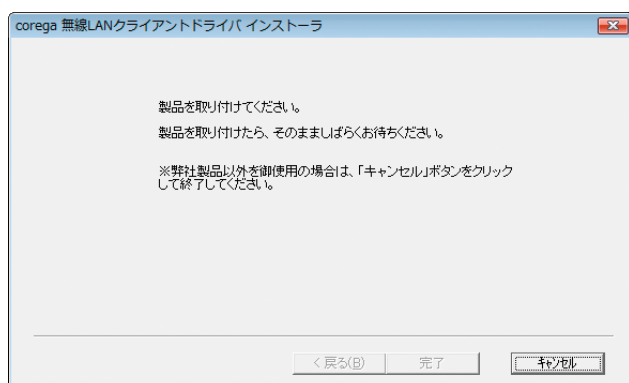
4 ［インストール開始］をクリックします。

5 ［次へ］をクリックします。

Windows Vista

Windows XP/2000

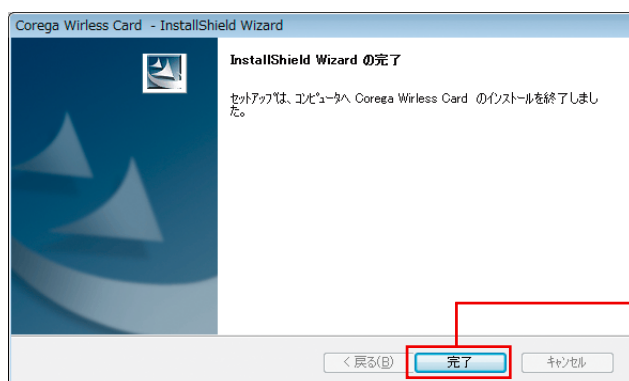
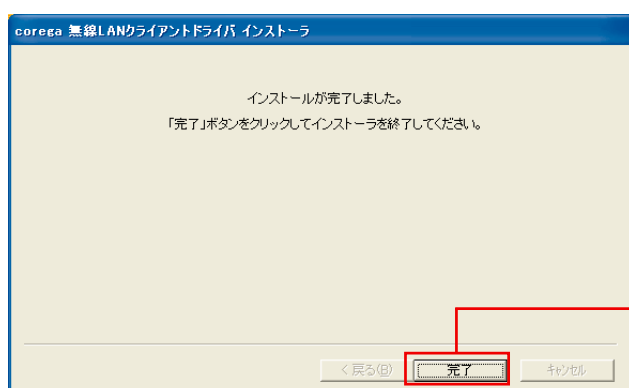
6 使用許諾書をご覧になり、「使用許諾契約の全条項に同意します」または「同意する」を選択して、［次へ］をクリックします。

Windows Vista

Windows XP/2000

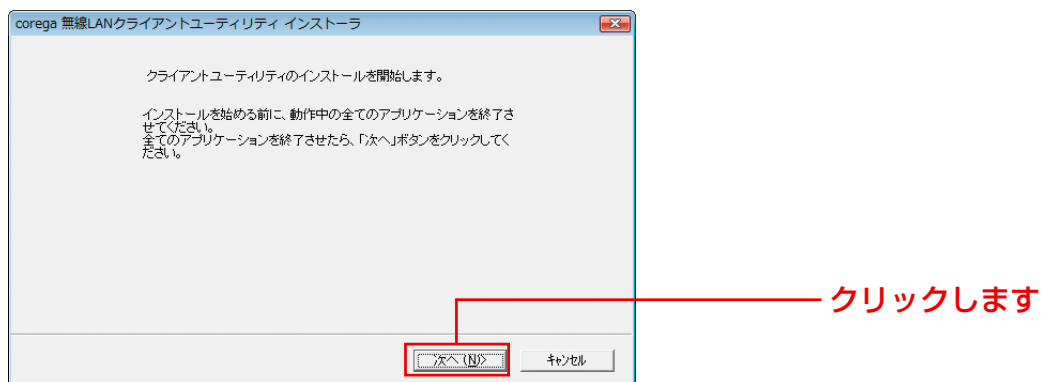
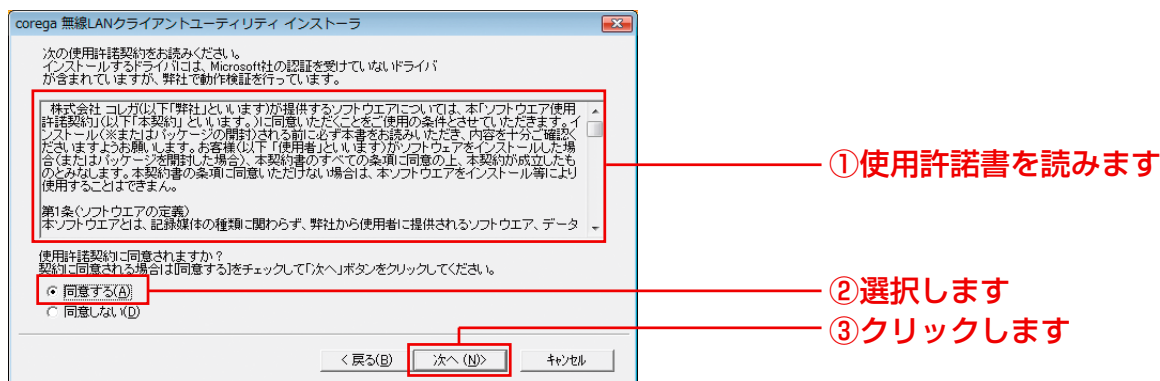
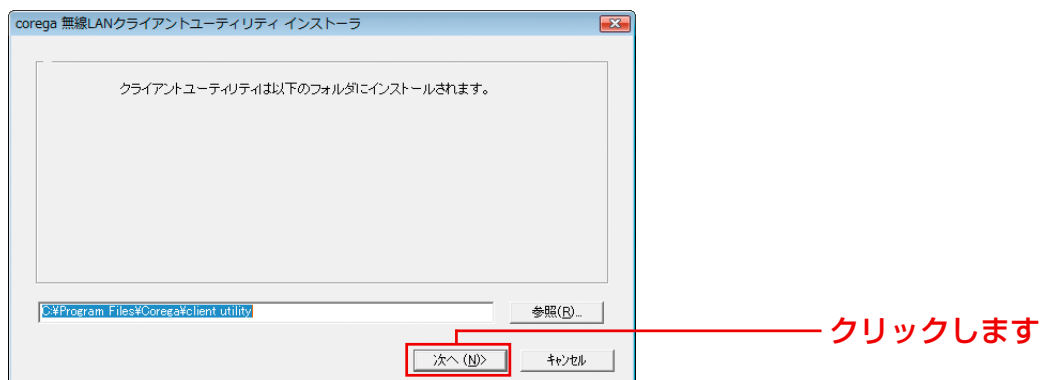
Windows XP/2000 の場合は手順 8 に進みます。

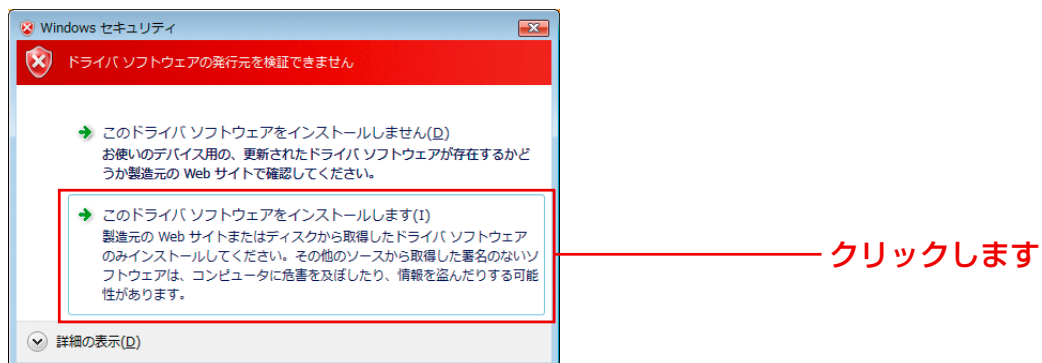
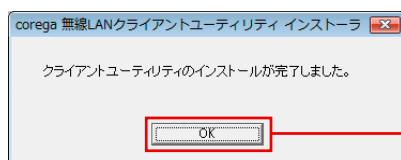
7 Windows Vistaの場合、次の画面が複数回表示されます。「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。
弊社で動作を確認しています。

8 次の画面が表示されますので、お使いのパソコンに無線 LAN アダプタを取り付けます。

パソコンへの取り付けは、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

9 ドライバの読み込みが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。画面が表示されたら [完了] をクリックします。

Windows Vista

Windows XP/2000

以上でドライバのインストールは完了です。

10 引き続きクライアントユーティリティのインストールが始まります。［次へ］をクリックします。

11 使用許諾書をご覧になり、「同意する」を選択して［次へ］をクリックします。

12 ［次へ］をクリックします。
クライアントユーティリティの保存先を指定する場合は、［参照］をクリックして保存先を指定します。

Windows XP/2000の場合は手順14（P.10）に進みます。

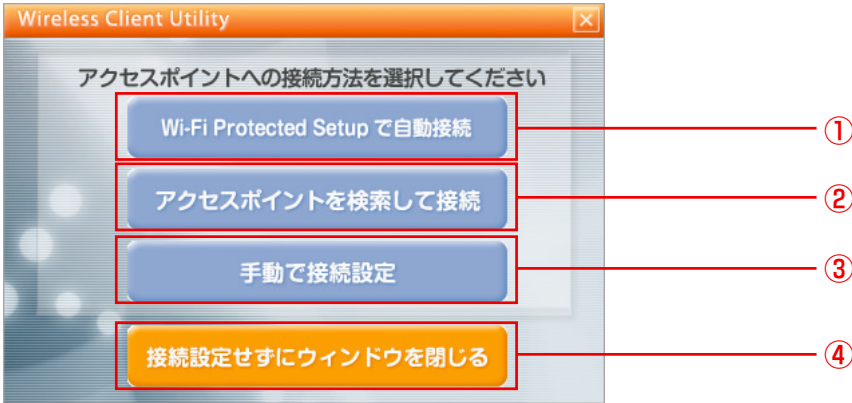
13 Windows Vistaの場合、次の画面が表示されます。「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックします。
弊社で動作を確認しています。

14 クライアントユーティリティのインストールが始まります。次の画面が表示されるまでお待ちください。表示されたら［OK］をクリックします。

以上でクライアントユーティリティのインストールは完了です。

15 次の画面が表示されたらアクセスポイントへの接続を開始します。

引き続き「無線機器に接続する」（P.11）の手順に従って、無線ルータや無線アクセスポイントに接続します。

無線機器に接続する

無線ルータや無線アクセスポイントへの接続方法は、次から選択できます。

■接続方法選択画面

① Wi-Fi Protected Setup で自動接続	無線ルータの「WPS ボタン」を使って接続したり、無線ルータまたは無線 LAN アダプタの PIN コードを送信して接続する方法です。 →「● Wi-Fi Protected Setup で接続する」（P.12）へ
②アクセスポイントを検索して接続	本ソフトウェアで接続可能なアクセスポイントを検索して接続する方法です。 →「●無線ネットワークを検索して接続する」（P.18）へ
③手動で接続設定	SSIDやネットワークキーなど接続に必要な情報をすべて手動で入力する方法です。 →「●新規で無線ネットワークを作成する」（P.20）へ
④接続設定せずにウィンドウを閉じる	この画面を閉じ、本ソフトウェアのメイン画面（P.48）を表示します。 アクセスポイントモードを使ってゲーム機などでインターネットに接続するには「アクセスポイントモードを使うときは（対応機種のみ）」（P.34）をご覧ください。

- **Wi-Fi Protected Setup（WPS）で接続する場合は、お使いの無線機器が WPS 対応であることをあらかじめ確認してください。**
- **CG-WLCB54GSX または CG-WLUSB2GS で、Windows Vista をお使いの場合、WPS を使って接続できないことがあります。その場合、「Windows Vista で WPS を使って接続できない（CG-WLCB54GSX、CG-WLUSB2GS のみ）」（P.65）をご覧ください。**

●Wi-Fi Protected Setupで接続する

[Wi-Fi Protected Setup で自動接続］をクリックすると次の画面が表示されますので、接続方法を選択します。

・[プッシュボタンによる接続］ → 「■ルータのボタンで接続する」（P.12）へ
・[PIN コード入力による接続］ → 「■ PIN コードで接続する」（P.14）へ

■ルータのボタンで接続する

1 ルータの電源を入れます。ルータが起動するまでしばらくお待ちください。

起動時間はお使いのルータによって異なります（詳しくはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください）。

2 ルータの WPS ボタンを２秒以上押し、WPS LED が緑色に点滅したことを確認します。

WPS LED の動作は次の表を参考にしてください（数字はおよその秒数を表します）。

クライアント待受中	0.2 0.1 0.2 0.1 0.2 0.1 0.2 ・・・ 秒
WPSボタン2度押し	0.1 1.0 0.5 ・・・ 秒
エラー	0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 0.1 ・・・ 秒
設定完了	300 秒

（凡例）■：点灯　□：消灯

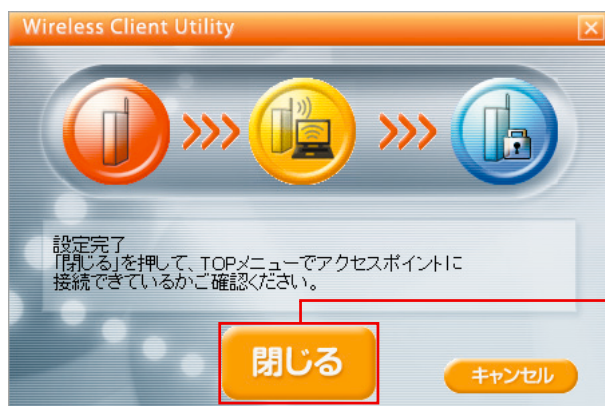
3 [Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

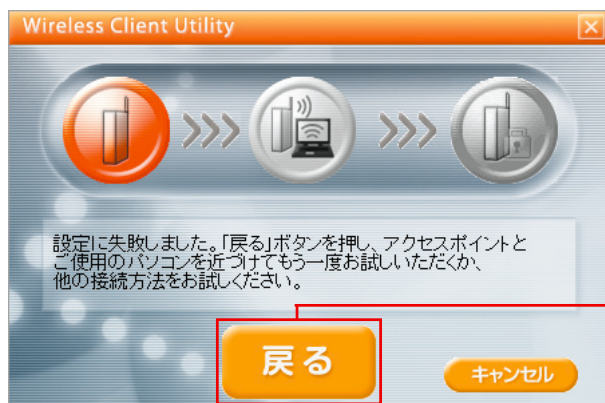
信号を受信しやすいようにルータに近づけてから［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてください。

4 アクセスポイントの検索が始まります。

検索は 2 分間行いますが、お使いの環境によって時間がかかる場合があります。

5 引き続き設定の読み込みが始まります。

6 「設定完了」と表示されたら［閉じる］をクリックします。

「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックすると接続方法選択画面（P.11）に戻ります。もう一度やり直してください。

注意

何度試しても設定できない場合は、「無線機器に接続する」（P.11）をご覧になり、別の手順で接続してください。

7 「xxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

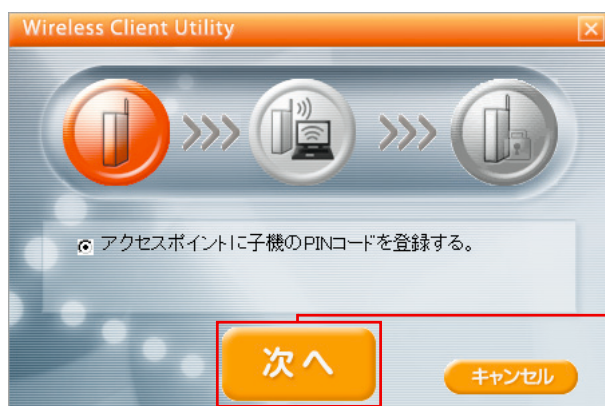
8 画面右上の×をクリックして、クライアントユーティリティ画面とインストール画面を閉じます。

もう一度クライアントユーティリティを表示させる場合は、パソコンの画面右下のをクリックします。

以上で設定は完了です。

■PINコードで接続する

1 ルータの電源を入れます。ルータが起動するまでしばらくお待ちください。

起動時間はお使いのルータによって異なります(詳しくはお使いのルータの取扱説明書をご覧ください)。

2 ［次へ］をクリックします。

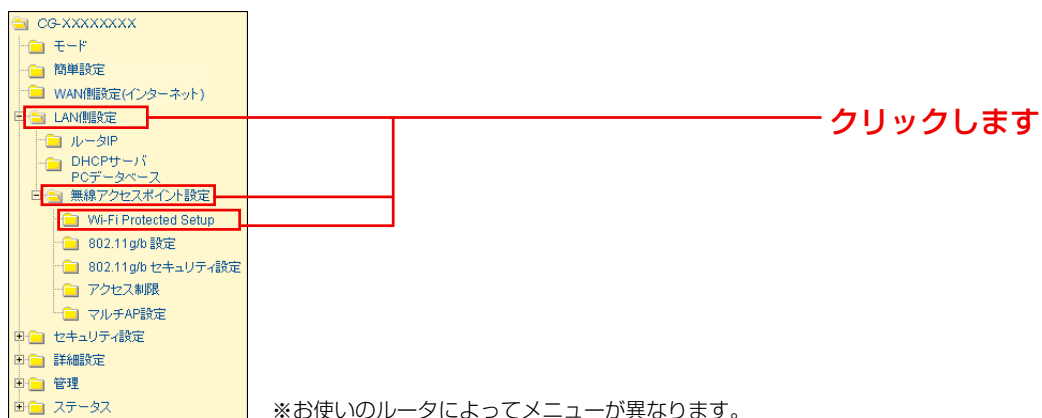
3 自動的に無線 LAN アダプタの PIN コードが作成されます。

4 アクセスポイントに LAN ケーブルで接続したパソコンから Internet Explorer を起動し、アドレス欄に「192.168.1.1」を入力して Enter キーを押します。

お使いの環境によっては、Internet Explorer を起動すると手順５（P.15）の画面が表示される場合があります。その場合はアドレス欄に何も入力しないで、手順５（P.15）にお進みください。

5 ユーザ名に「root」、パスワードに何も入力しないで［ログイン］をクリックします。

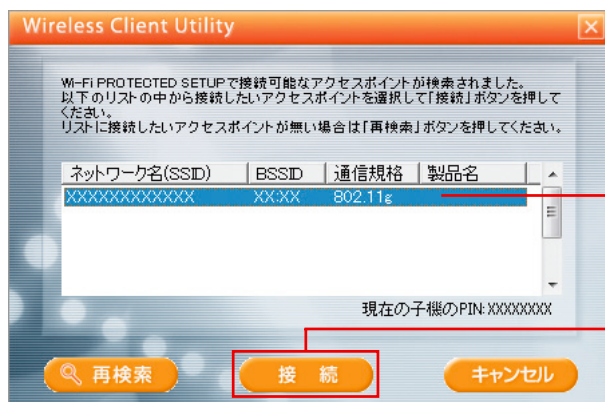
6 画面左側のメニューから「LAN 側設定」ー「無線アクセスポイント設定」ー「Wi-Fi Protected Setup」の順にクリックします。

※お使いのルータによってメニューが異なります。

7 「子機の PIN コード登録による接続」を選択し、手順３（P.14）で作成された無線 LAN アダプタの PIN コードを入力して［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

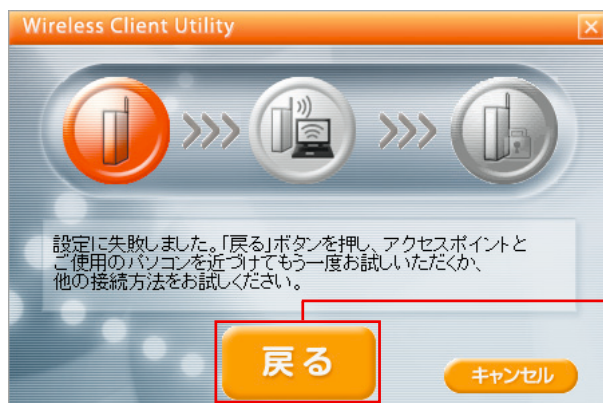
8　本ソフトウェアの画面の［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックします。

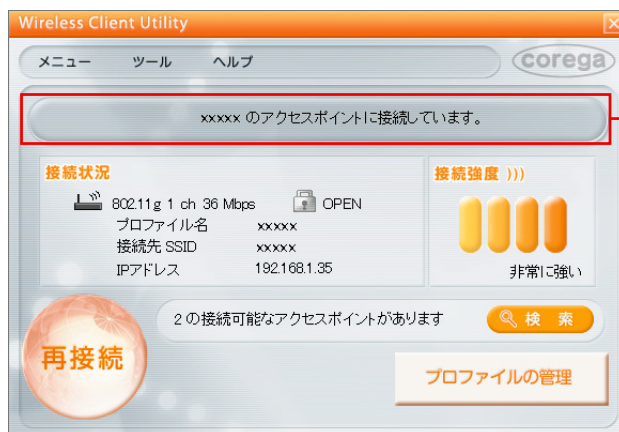
・「Wi-Fi Protected Setup」の信号は、［Wi-Fi PROTECTED SETUP］がクリックされてから2分間発信されます。2分以内にもう一方の［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてください。

・信号を受信しやすいようにルータに近づけてから［Wi-Fi PROTECTED SETUP］をクリックしてください。

9　接続するアクセスポイントを選択して、［接続］をクリックします。
アクセスポイントが表示されない場合は、［再検索］をクリックしてください。

10「暗号化設定中」と表示され、通信が開始されます。そのままお待ちください。

11「設定完了」と表示されますので［閉じる］をクリックします。

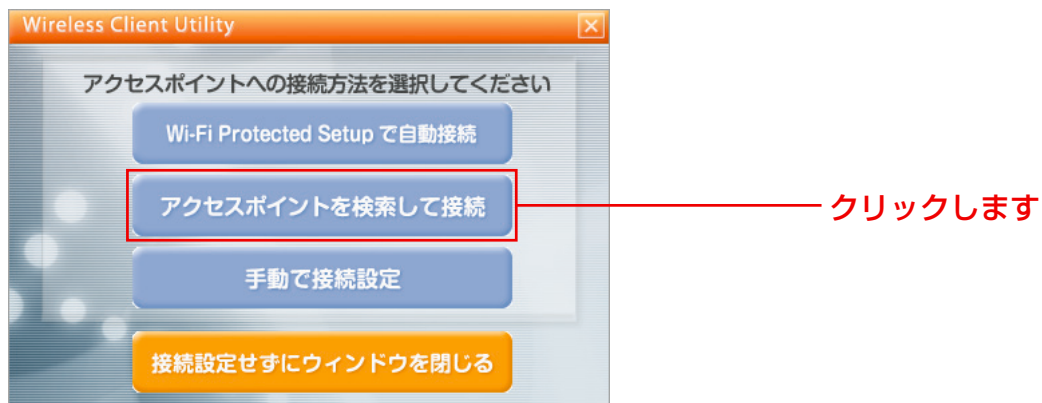
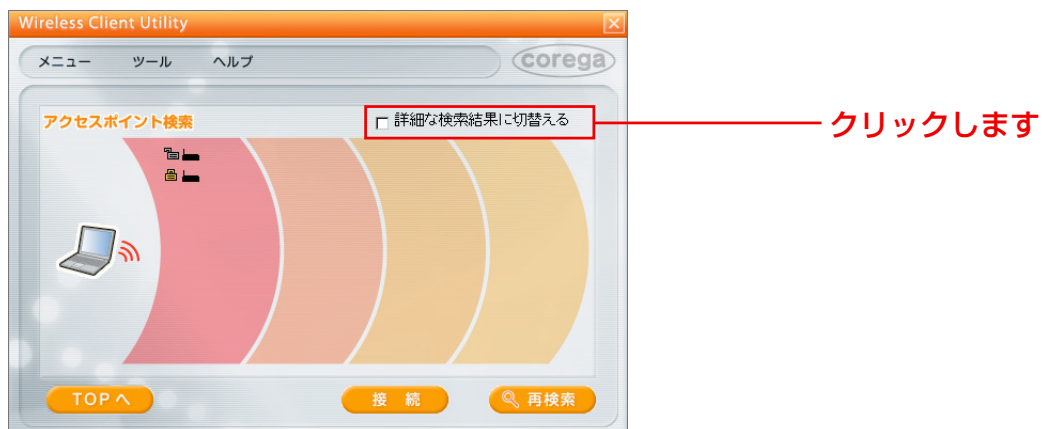
「設定に失敗しました」と表示された場合は、［戻る］をクリックすると接続方法選択画面（P.11）に戻ります。もう一度やり直してください。

注意 何度試しても設定できない場合は、「無線機器に接続する」（P.11）をご覧になり、別の手順で接続してください。

12「xxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

13 画面右上の をクリックして、クライアントユーティリティ画面とインストール画面を閉じます。

メモ もう一度クライアントユーティリティを表示させる場合は、パソコンの画面右下の をクリックします。

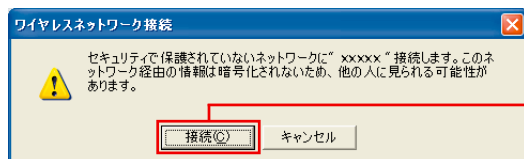
以上で設定は完了です。

●無線ネットワークを検索して接続する

1　［アクセスポイントを検索して接続］をクリックします。

2　お使いの環境で接続可能な無線アクセスポイントが表示されます（表示されない場合は［再検索］をクリックします）。「詳細な検索結果に切替える」をクリックします。

アクセスポイントの上にマウスポインタを乗せるとSSIDや暗号化などの情報が表示されます。この画面は、左側に表示されたアクセスポイントほど電波の強度が高いことを示しています。

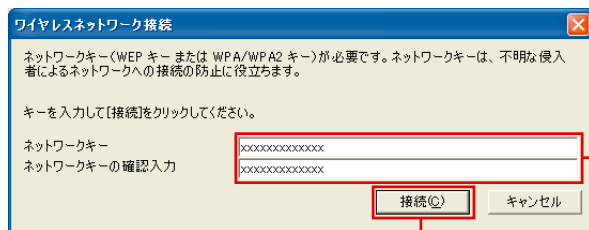
3　接続したい無線ネットワークのSSID（ESSID、ネットワーク名）を選択し、［接続］をクリックします。

- 暗号化にWEP、WPA、WPA2 が表示されている場合は、無線セキュリティが設定された無線ネットワークを示します。
- アクセスポイントが一覧に表示されない場合は、［再検索］をクリックします。
- SSID（ESSID、ネットワーク名）は接続する機器の取扱説明書をご覧いただくか、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

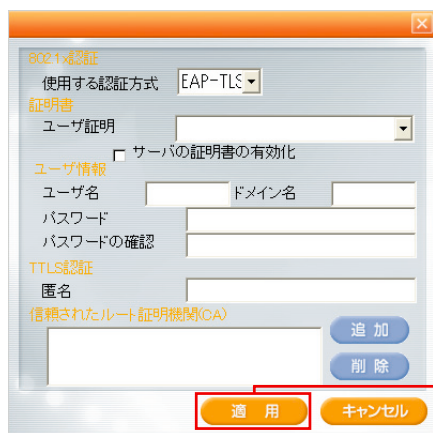
4　接続したいネットワークの環境によって表示される画面が異なります。

■無線セキュリティが設定されていないネットワークの場合

［接続］をクリックします。

■WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKが設定されているネットワークの場合

ネットワークキーを入力して［接続］をクリックします。

注意　ネットワークキーは、接続する無線ルータまたは無線アクセスポイントと同じ値を入力します。入力する値がわからない場合はネットワーク管理者にお問い合わせください。

■WPA-EAPまたはWPA2-EAPが設定されているネットワークの場合

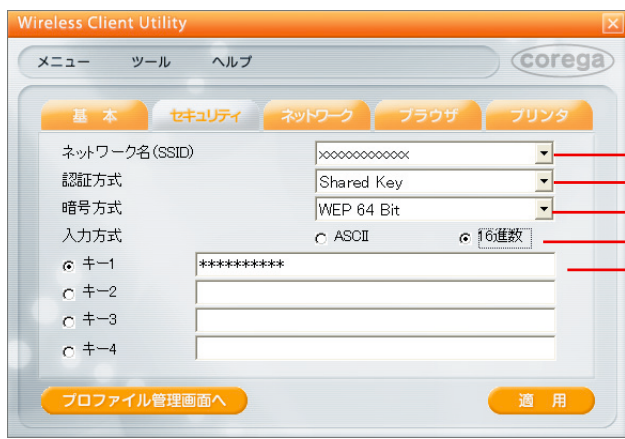
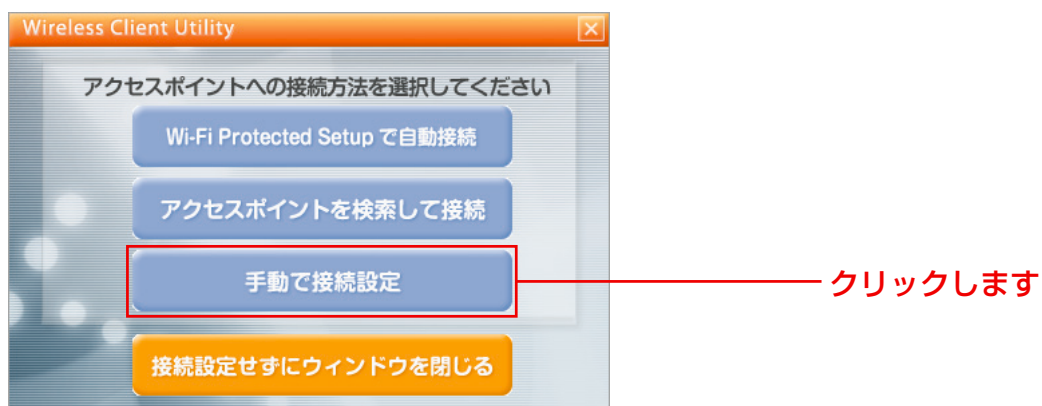
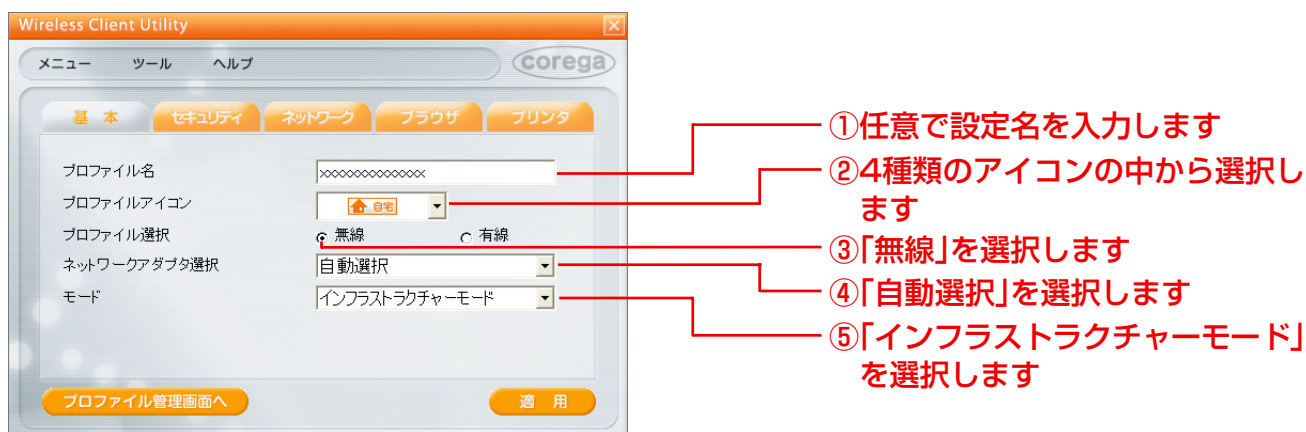
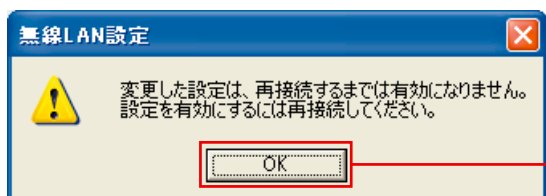
セキュリティの情報を入力し、［適用］をクリックします。

WPA-EAP、WPA2-EAPが設定されているネットワークへの接続手順は、「802.1X認証を設定する」（P.31）をご覧ください。

5　「xxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

6　画面右上の をクリックして、クライアントユーティリティ画面とインストール画面を閉じます。

> メモ　もう一度クライアントユーティリティを表示させる場合は、パソコンの画面右下の をクリックします。

以上で設定は完了です。

●新規で無線ネットワークを作成する

1　［手動で接続設定］をクリックします。

2　次のように設定します。

3 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定して［適用］をクリックします。

・無線セキュリティを設定しない場合は、「ネットワーク名（SSID）」のみを入力して［適用］をクリックします。
・画面は「WEP 64Bit」を設定している例です。

4 ［OK］をクリックします。

5 プロファイル管理画面に設定内容が反映されます。作成したファイルを選択し、[再接続] をクリックして [TOPへ] をクリックします。

6 「xxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

7 画面右上の をクリックして、クライアントユーティリティ画面とインストール画面を閉じます。

以上で設定は完了です。

無線クライアントユーティリティを使いこなす

本ソフトウェアの起動

インストール完了後、本ソフトウェアを起動したい場合は次の手順に従ってください。

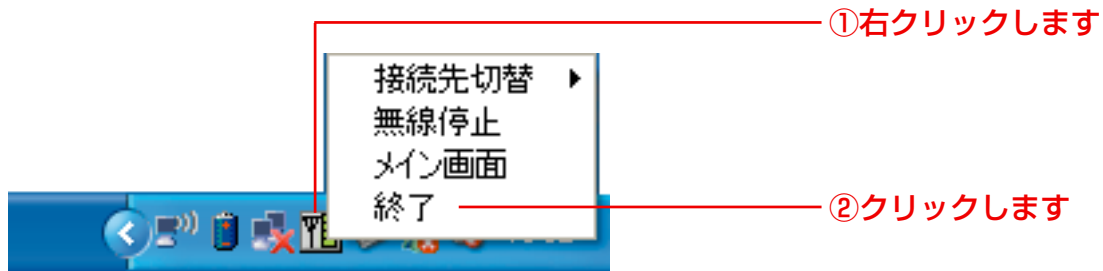
1 パソコンの画面右下の をクリックします。

2 本ソフトウェアが起動します。

メモ　パソコンの画面右下に が表示されていない場合は、「スタート」ー「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）ー「コレガ無線 LAN ユーティリティ」ー「無線クライアントユーティリティ」の順にクリックしてください。

無線 LAN アダプタを取り外す

無線 LAN アダプタをお使いのパソコンから取り外す場合は、次の手順に従ってください。

1 パソコンの画面右下のを右クリックし、「終了」をクリックします。

> 注意
> 画面右上のをクリックした状態では、本ソフトウェアは終了していません。

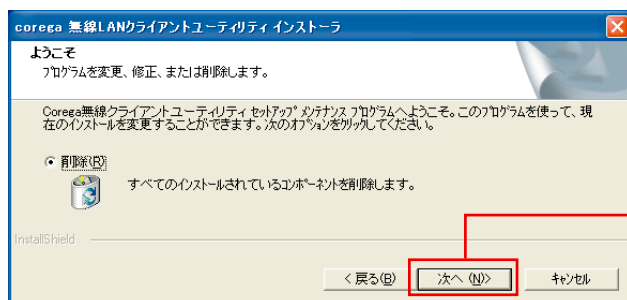
2 パソコンの画面右下のまたはをクリックし、「CG-XXXXXXX を安全に取り外します」（お使いの OS により、中止や停止という意味の内容になります）をクリックします。

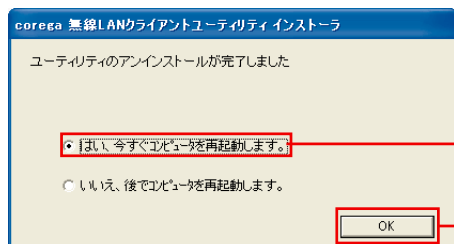
3 無線 LAN アダプタをパソコンから取り外します。

ソフトウェアのアンインストールをする

本ソフトウェアをアンインストールする場合は、次の手順に従ってください。

アンインストールをする前に「無線 LAN アダプタを取り外す」（P.24）をご覧になり、無線 LAN アダプタをパソコンから取り外してください。また、現在使用中のアプリケーションをすべて終了させてください。

1 「スタート」ー「すべてのプログラム」（Windows 2000 では「プログラム」）ー「コレガ無線 LAN ユーティリティ」ー「無線クライアントユーティリティの削除」の順にクリックします。
Windows Vista の場合は「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、「許可」をクリックします。

2 ［次へ］をクリックします。

3 「はい、今すぐコンピュータを再起動します。」を選択し、［OK］をクリックします。

4 コンピュータが再起動します。

以上でアンインストールが完了しました。

無線セキュリティの設定をするときは

●本ソフトウェアで設定できるセキュリティ機能

本ソフトウェアに搭載されたセキュリティ機能は次のとおりです。

セキュリティは、お使いになる無線機器に共通したセキュリティを設定する必要があります。設定の前にお使いの機器がどんなセキュリティ機能を搭載しているか確認してください。

■SSID(Service Set IDentifier)

無線LANに接続する機器を識別する名前です。ESSIDと呼ばれることもあります。同じSSIDを持つ無線LAN機器同士でしか通信できないため、独自のSSIDを設定することにより、外部から不正侵入される危険が減少します。設定方法については「● SSIDを設定する」(P.27)をご覧ください。

■WEP(Wired Equivalent Praivacy)

通信内容を暗号化し、通信内容の傍受を防ぐセキュリティ機能です。仮に通信データを傍受された場合でも、通信内容の復元を容易に行うことができなくなります。64Bit、128Bitの2種類から任意で暗号キーを作成します。設定方法については、「● WEPを設定する」(P.28)をご覧ください。

■WPA(Wi-Fi Protected Access)

通信内容を設定した暗号キーを使って暗号化するセキュリティ機能の1つです。暗号キーは一定ごとに変わるTKIPを採用しており、WEPよりも解読されにくくなります。家庭でご利用できる「WPA-PSK(パーソナル)」と企業内でご利用できる「WPA-EAP(エンタープライズ)」の2種類の設定ができます。設定方法については、「●WPA、WPA2-PSKを設定する」(P.30)をご覧ください。

■WPA2(Wi-Fi Protected Access 2)

WPA2は、Wi-Fiアライアンスが2004年9月に発表したWPAの新しい規格です。米標準技術局(NICT)が定めた暗号化標準の「AES」を採用しており、128～256Bitの可変調キーを利用して強力な暗号化が可能です。その他の仕様についてはWPAとほとんど変わらないので、WPAとWPA2の混在した環境で利用できます。設定方法については「● WPA、WPA2-PSKを設定する」(P.30)をご覧ください。

■802.1X認証

無線ネットワークを確立する際に、認証サービスを受けるセキュリティ設定です。正しい認証キーでアクセスすると認証サーバが正規のユーザであることを承認し、通信が可能になります。企業内のネットワークで利用されます。設定方法については「● 802.1X認証を設定する」(P.31)をご覧ください。

■WPS(Wi-Fi Protedted Setup)

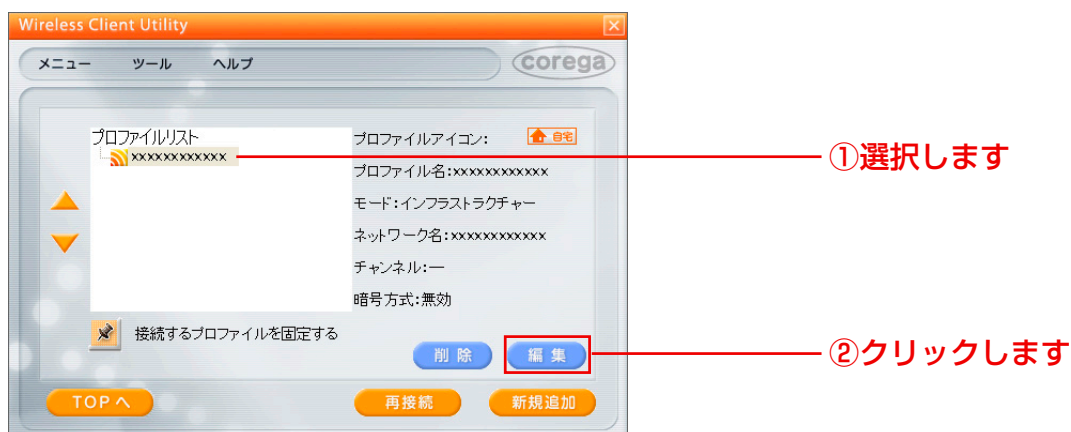
Wi-Fiアライアンスが2007年1月より認定を開始した規格です。プッシュボタンを押す、PIN(Personal Identification Number)コードを入力するどちらかの方式で接続を行い、無線LANアダプタをアクセスポイントに登録してSSIDとWPA2のセキュリティの設定を完了させせます。接続方法は、「● Wi-Fi Protected Setupで接続する」(P.12)をご覧ください。

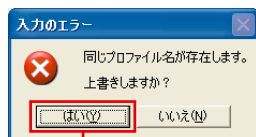
●SSIDを設定する

SSID を新たに作成したり、接続中の無線ネットワークの SSID を変更する場合は次の手順に従ってください。

1 パソコンの画面右下のをクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2 ［プロファイルの管理］をクリックします。

3 設定を変更したいプロファイルを選択し、［編集］をクリックします。
新規で作成する場合は、［新規追加］をクリックし、「新規で無線ネットワークを作成する」（P.20）をご覧ください。

4 「セキュリティ」タブをクリックし、「ネットワーク名（SSID）」に設定したいSSID を半角英数字および半角記号で 32 文字以内で入力し、［適用］をクリックします。

本設定は、接続するアクセスポイントにも同様に設定してください。

5　［はい］をクリックします。

6　［OK］をクリックします。

7　プロファイル管理画面に設定内容が反映されます。作成したプロファイルを選択して［再接続］をクリックします。

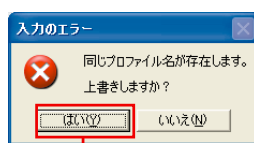
●WEPを設定する

1　パソコンの画面右下のをクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2　［プロファイルの管理］をクリックします。

3　設定を変更したいプロファイルを選択し、［編集］をクリックします。
新規で作成する場合は、［新規追加］をクリックし、「新規で無線ネットワークを作成する」（P.20）をご覧ください。

4 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定して［適用］をクリックします。

- ③でASCIIを選択した場合は、「キー1」に半角英数字および半角記号で64Bitは5文字、128Bitは13文字を入力してください。
- ③で16進数を選択した場合は、「キー1」に0～9/a～fで64Bitは10桁、128Bitは26桁を入力してください。
- 本設定は、接続するアクセスポイントにも同様に設定してください。

5 ［はい］をクリックします。

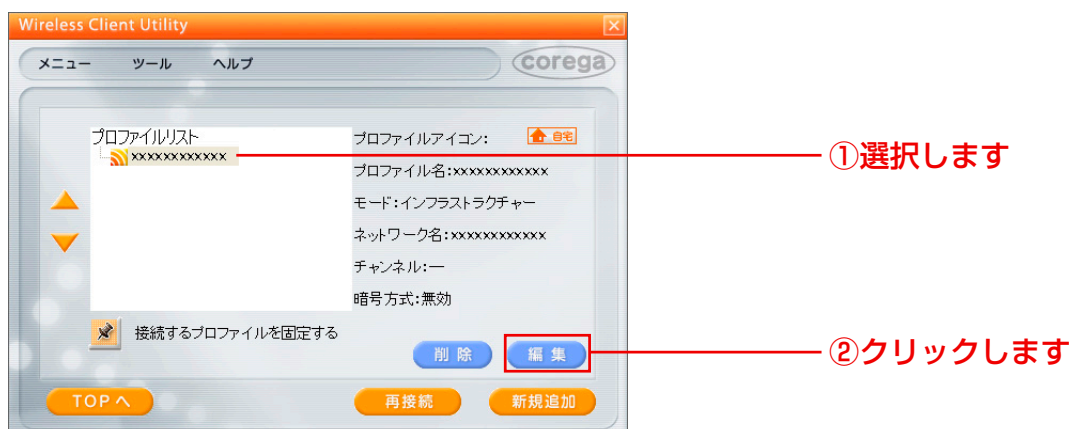
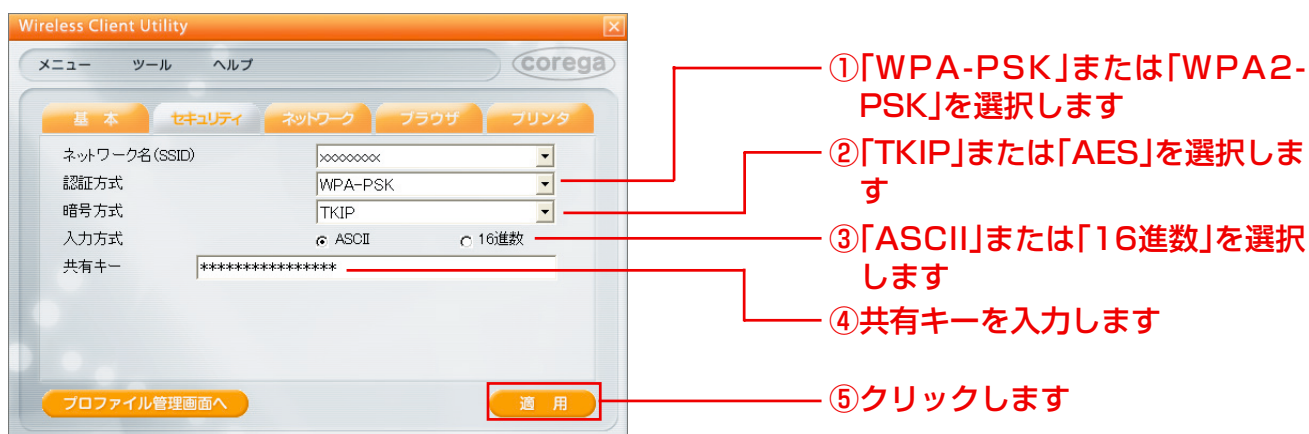
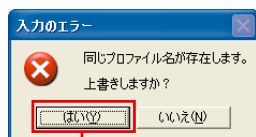
6 ［OK］をクリックします。

7 プロファイル管理画面に設定内容が反映されます。作成したプロファイルを選択して［再接続］をクリックします。

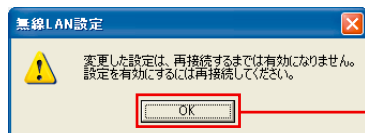
●WPA、WPA2-PSKを設定する

1 パソコンの画面右下の をクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2 ［プロファイルの管理］をクリックします。

3 設定を変更したいプロファイルを選択し、［編集］をクリックします。
新規で作成する場合は、［新規追加］をクリックし、「新規で無線ネットワークを作成する」（P.20）をご覧ください。

4 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定して［適用］をクリックします。

- 共有キーは、ASCIIでは半角英数字および半角記号の8〜63文字、16進数では0〜9/a〜fの64文字で入力してください。
- 本設定は接続するアクセスポイントにも同様に設定してください。

5　［はい］をクリックします。

クリックします

6　［OK］をクリックします。

7　プロファイル管理画面に設定内容が反映されます。作成したプロファイルを選択して［再接続］をクリックします。

●802.1X認証を設定する

802.1X認証の設定をするには 、お使いのネットワークにあわせた設定が必要です。お使いの環境によって設定が異なりますので、設定の詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。

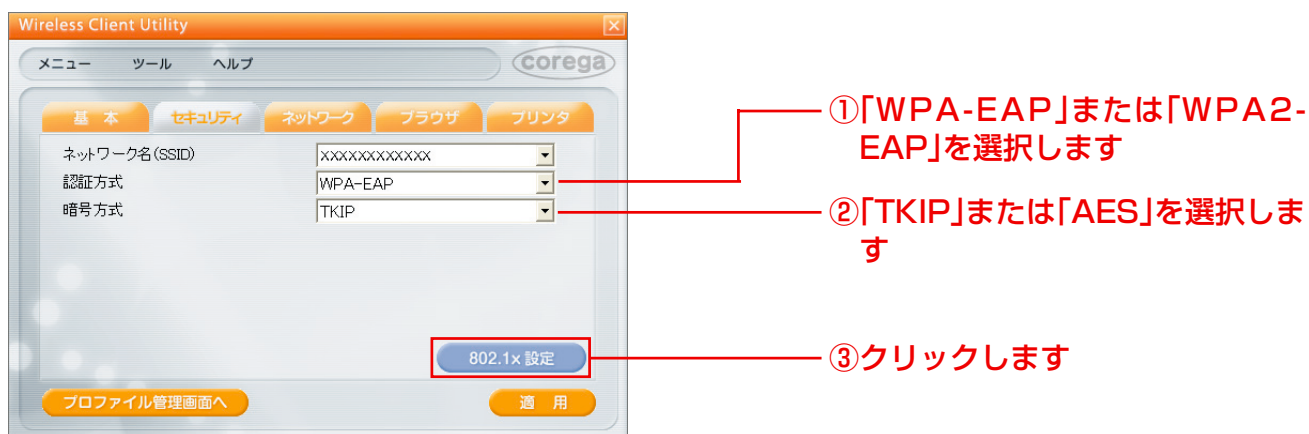
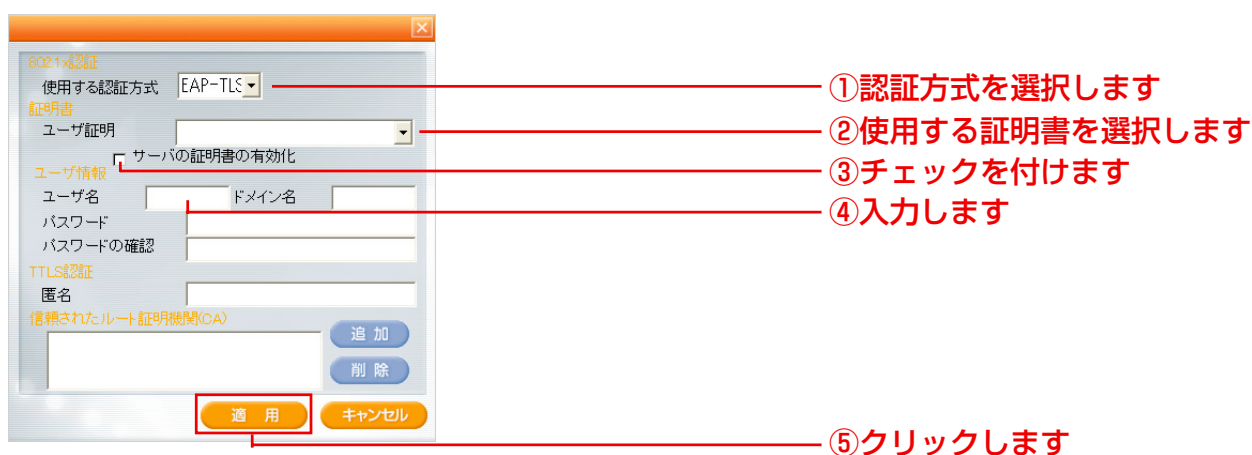
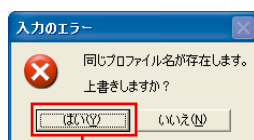
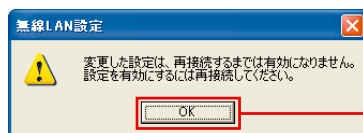
弊社では、Windows 2000 Server インターネット認証サービス（IAS）で動作を確認しています。

1　パソコンの画面右下の をクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2　［プロファイルの管理］をクリックします。

クリックします

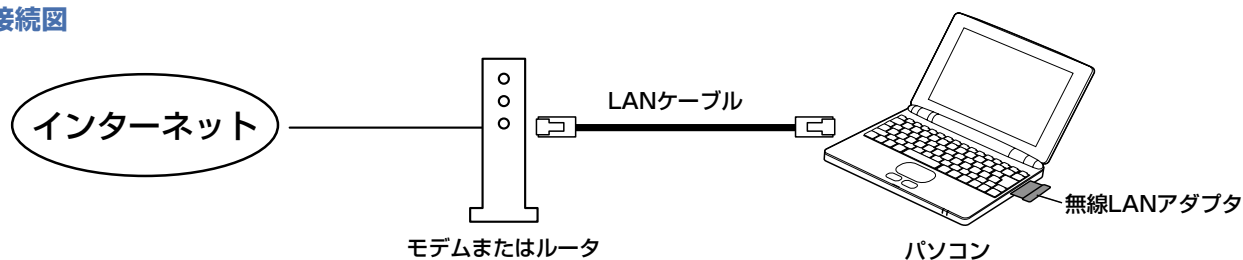
3 設定を変更したいプロファイルを選択し、［編集］をクリックします。
新規で作成する場合は、［新規追加］をクリックし、「新規で無線ネットワークを作成する」（P.20）をご覧ください。

4 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定して［802.1x設定］をクリックします。

5 次のように設定し、［適用］をクリックします。

ユーザ証明は、あらかじめダウンロードするなどして入手しておく必要があります。

6　[はい] をクリックします。

7　[OK] をクリックします。

8　プロファイル管理画面に設定内容が反映されます。作成したプロファイルを選択して [再接続] をクリックします。

アクセスポイントモードを使うときは（対応機種のみ）

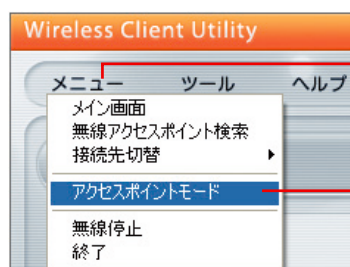
アクセスポイントモードを使うと、ゲーム機などでインターネットに接続できます。ここでは、ニンテンドーDSおよびWiiで接続する例を説明します。

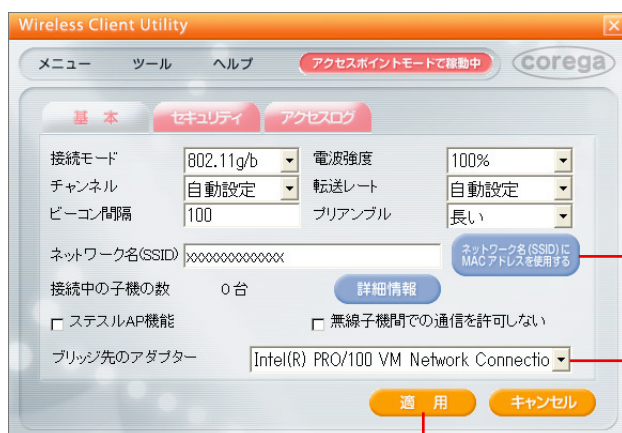
■接続図

- 本設定をするには、パソコンとルータまたはモデムとの接続をLANケーブルで接続してください。そのほかの接続については弊社のサポート対象外とさせていただきます。
- 本設定をする前にパソコンとルータまたはモデムとの接続が正しく行われ、インターネットに接続できることを確認してください。

●アクセスポイントモードを設定する

1 パソコンの画面右下の をクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2 「メニュー」ー「アクセスポイントモード」の順にクリックします。

注意

「アクセスポイントモード」が選択できない場合は、無線LANアダプタが正しくパソコンに取り付けられていることを確認してください。

3 「基本」タブをクリックし、次のように設定します。

- ①の「ネットワーク名（SSID）」は半角英数字および半角記号で、32文字以内の任意の値を入力することもできます。
- ② LANポートのアダプタがわからない場合は、お使いのパソコンの取扱説明書をご覧ください。

4 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定します。

5 無線クライアントユーティリティの右上の☒をクリックします。

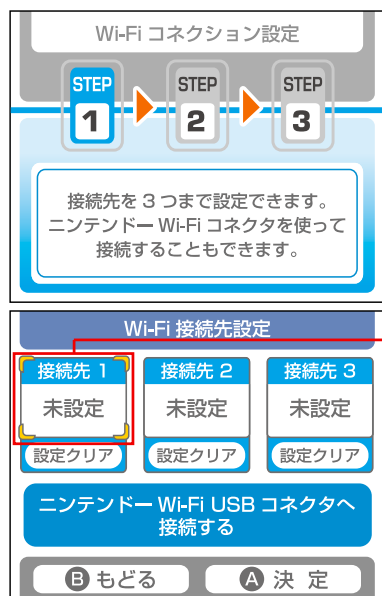
以上でアクセスポイントモードの設定は完了です。
引き続き、ゲーム機の設定をします。

・ニンテンドー DS →「●ニンテンドー DS で接続する」（P.36）
・Wii →「● Wii で接続する」（P.39）

●ニンテンドーDSで接続する

1　［Wi-Fi］または［Wi-Fi せってい］をタッチして「Wi-Fi コネクション設定」を表示します。

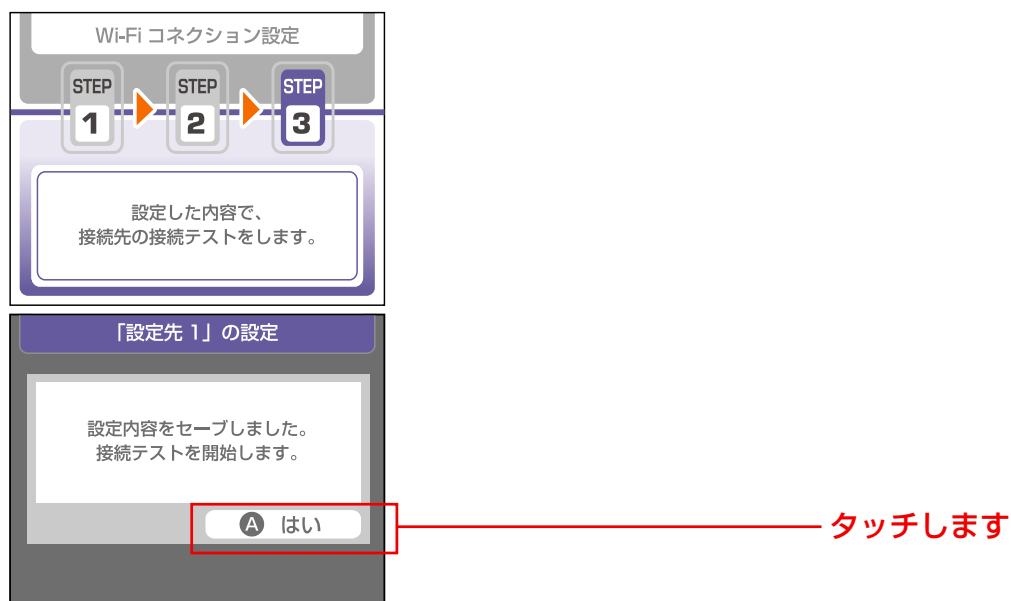
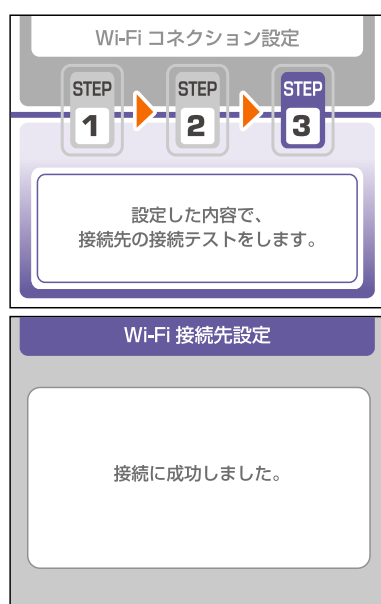
ゲームソフトによって「Wi-Fi コネクション設定」を表示させる手順が異なります。

2　［Wi-Fi 接続先設定］をタッチします。

3　「未設定」の接続先をタッチします。

4　［アクセスポイントを検索］をタッチします。

5　「アクセスポイントモードを設定する」の手順３の①（P.34）で控えたSSIDをタッチします。

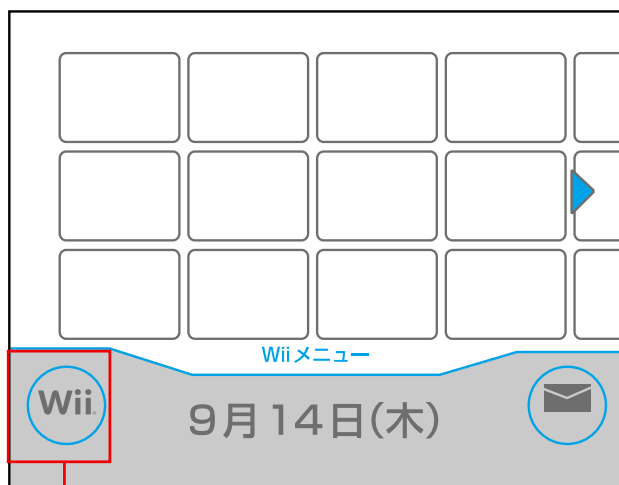
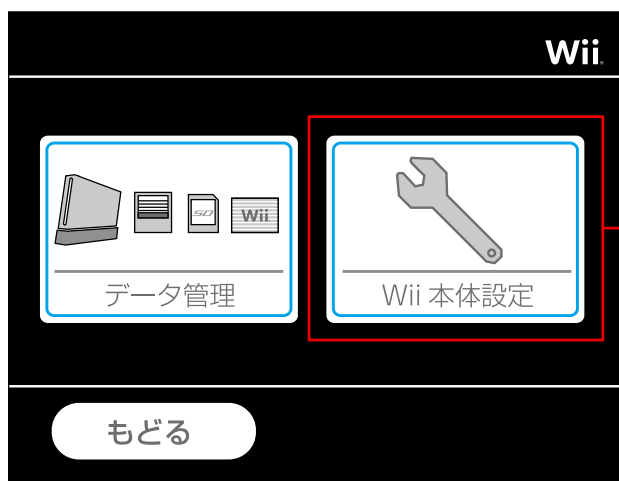
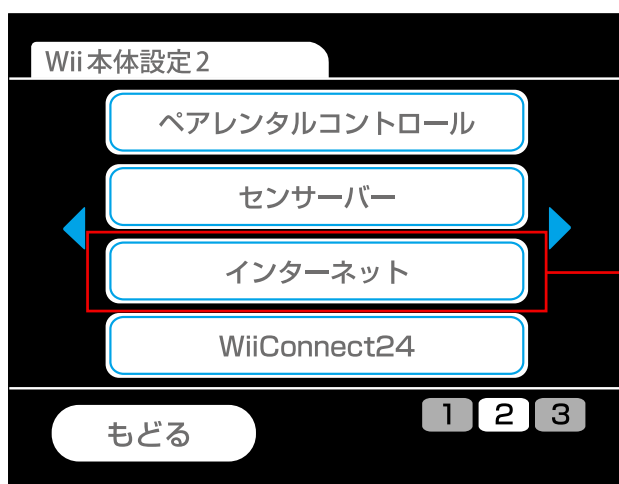
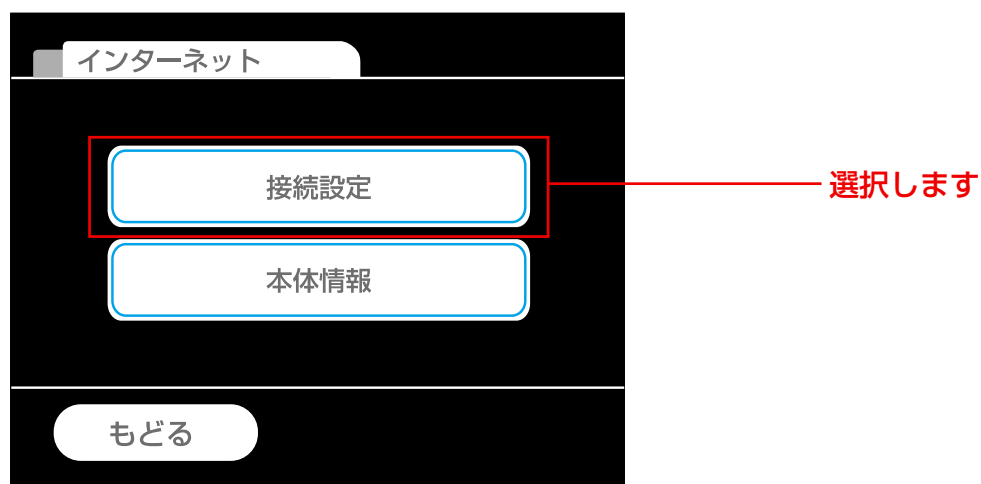
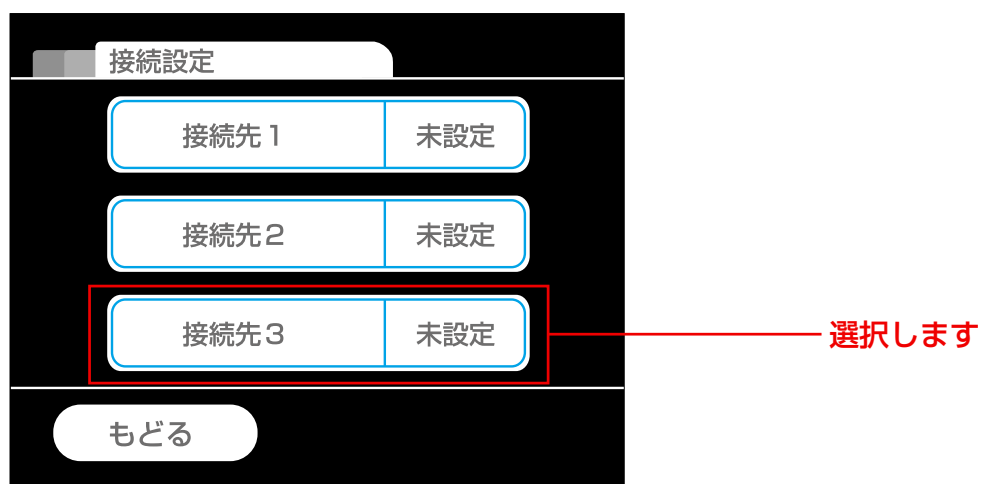
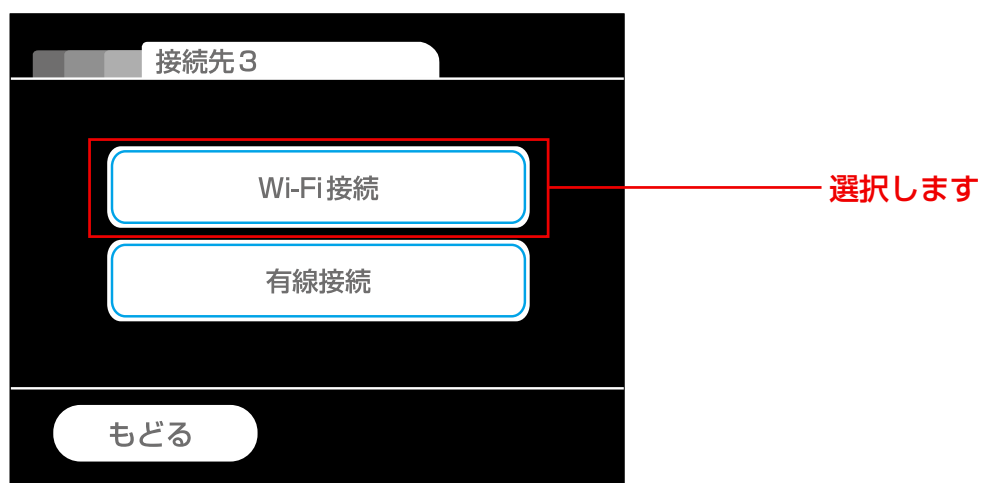
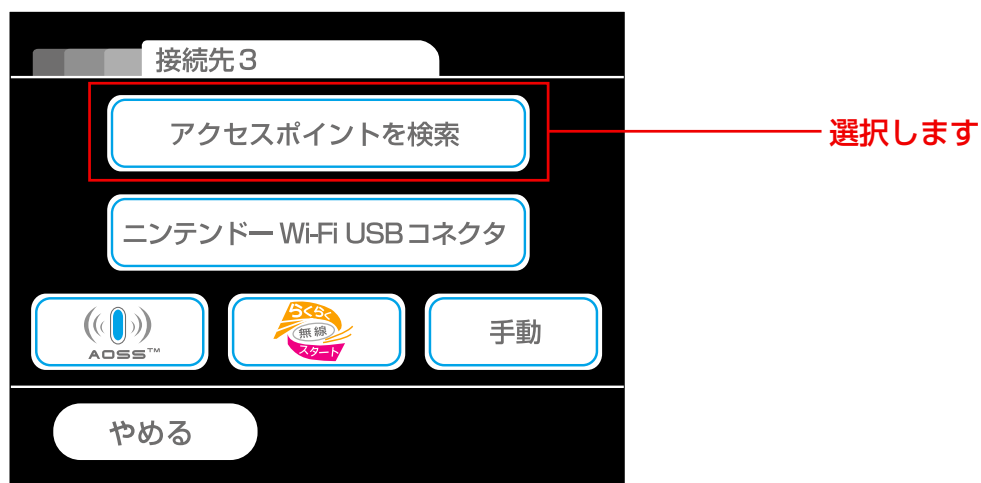
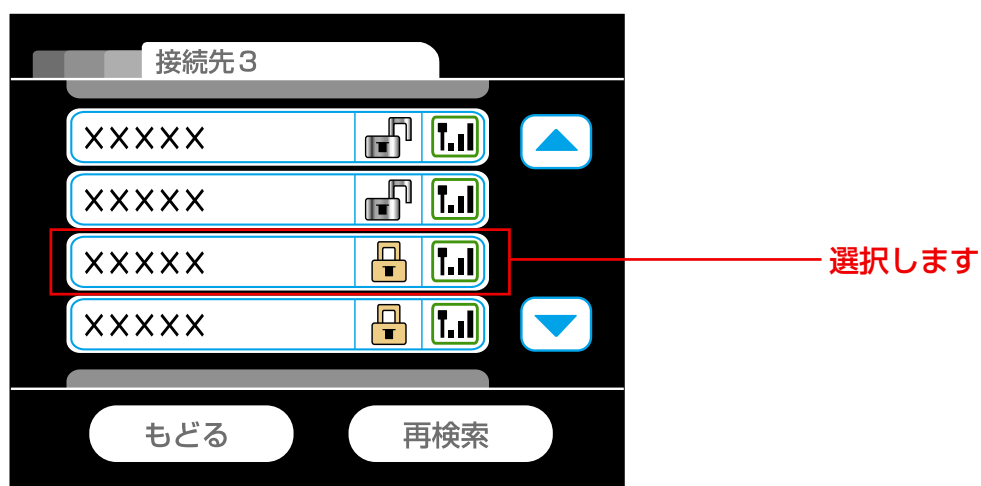
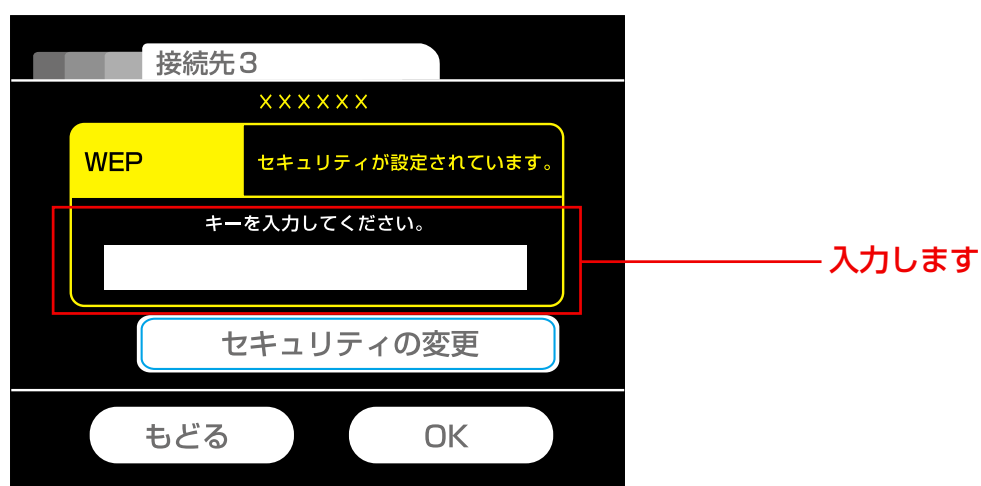
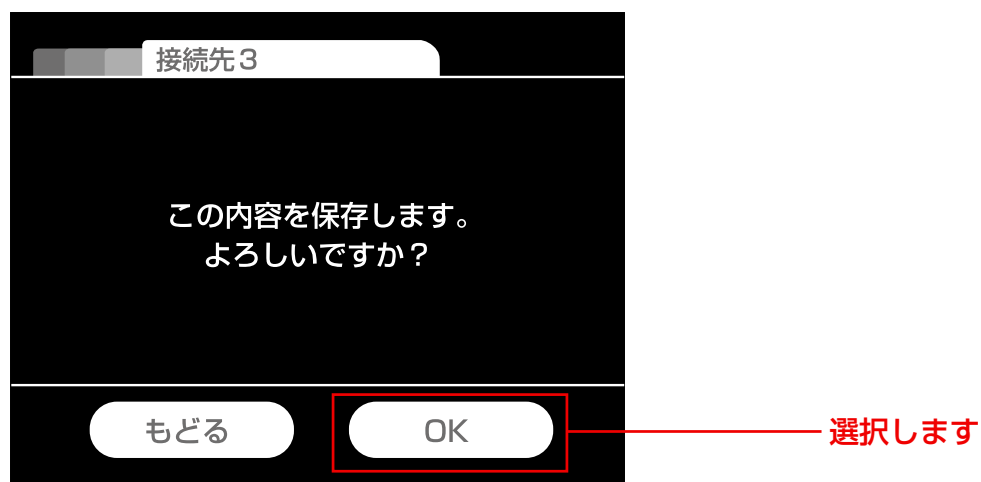
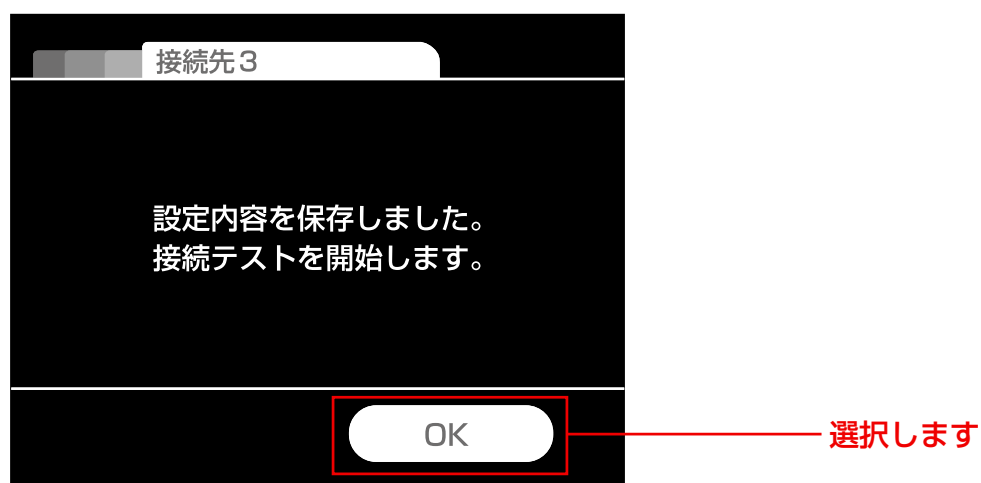
6　WEPキー入力画面が表示されますので、「アクセスポイントモードを設定する」の手順４の④（P.35）で控えた値を入力します。

7　［はい］をタッチし、接続テストを始めます。

8　「接続に成功しました。」と表示されたら設定完了です。

メモ　接続に失敗した場合は、WEP キーを誤って入力している可能性があります。手順 3（P.36）から設定をやり直してください。

以上で設定は完了です。

●Wiiで接続する

1 Wii の電源を入れ、Ⓐボタンを押します。

2 [Wii]（「Wii オプション」）を選択し、Ⓐボタンを押します。

3 [Wii 本体設定] を選択し、Ⓐボタンを押します。

4 [インターネット] を選択し、Ⓐボタンを押します。

5　［接続設定］を選択し、Ⓐボタンを押します。

6　「未設定」の［接続先］を選択し、Ⓐボタンを押します。

7　［Wi-Fi 接続］を選択し、Ⓐボタンを押します。

8 ［アクセスポイントを検索］を選択し、Ⓐボタンを押します。

9 「アクセスポイントモードを設定する」の手順３の①（P.34）で控えたSSIDを選択し、Ⓐボタンを押します。

10「アクセスポイントモードを設定する」の手順４の④（P.35）で控えたセキュリティキーを入力します。

11「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されます。[OK] を選択し、Ⓐボタンを押します。

12「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されます。[OK] を選択し、Ⓐボタンを押します。

13「Wii 本体を更新しますか？」と表示されます。[はい] を選択し、Ⓐボタンを押します。

以上で設定は完了です。

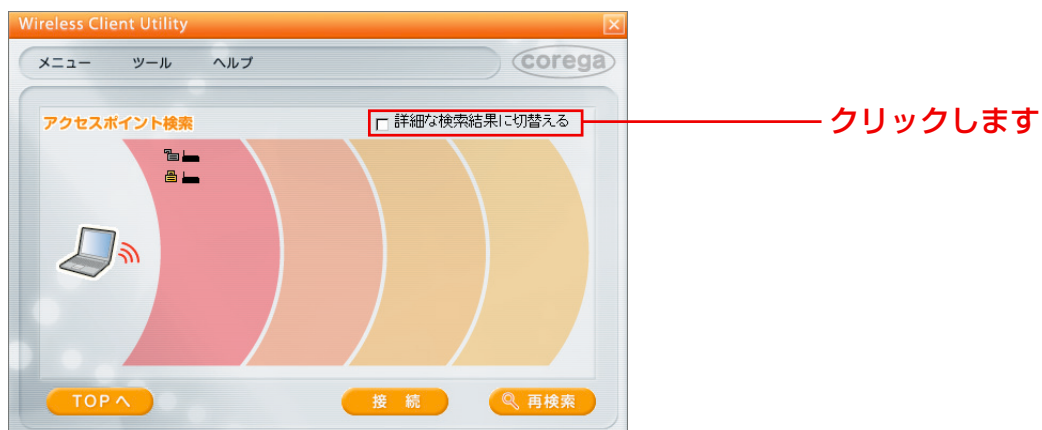
アドホックモードを使うときは

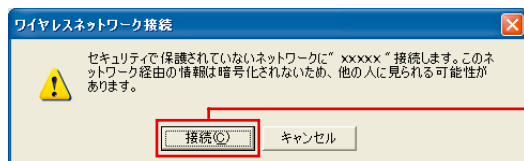
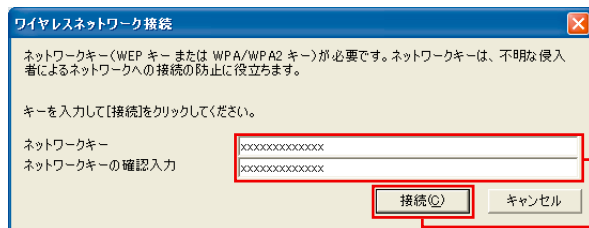
無線 LAN アダプタ同士で通信するアドホックモードを使うには次の手順に従ってください。

●アドホックモードを利用したネットワークに接続する

1 パソコンの画面右下のをクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2 ［検索］をクリックします。

3 「詳細な検索結果に切替える」をクリックします。

4 「アドホックモード」と表示されている無線ネットワークの中から、接続したいSSIDを選択して［接続］をクリックします。

5　接続したいネットワークの環境によって表示される画面が異なります。

■無線セキュリティが設定されていないネットワークの場合
［接続］をクリックします。

■WEP、WPA-PSK、WPA2-PSKが設定されているネットワークの場合
ネットワークキーを入力して［接続］をクリックします。

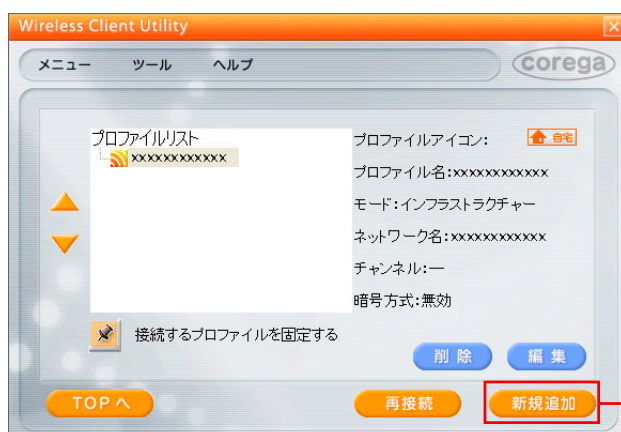
6　「xxxxxxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

7　無線クライアントユーティリティの右上の☒をクリックします。

以上で設定は完了です。

●新規でアドホックモードのネットワークを構築する

1 パソコンの画面右下のをクリックし、本ソフトウェアを起動します。

2 ［プロファイルの管理］をクリックします。

3 ［新規追加］をクリックします。

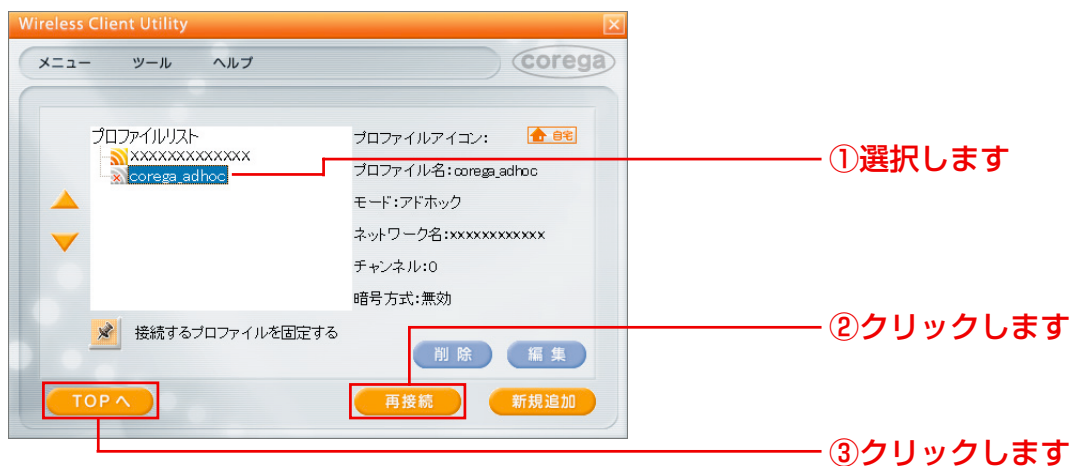
4 ［手動で接続設定］をクリックします。

5 次のように設定します。

6 「セキュリティ」タブをクリックし、次のように設定して［適用］をクリックします。

- 無線セキュリティの設定をしない場合は、①の「ネットワーク名（SSID）」のみを入力して［適用］をクリックしてください。
- 画面はWEPで設定した場合の例です。そのほかの設定は「無線セキュリティの設定をするときは」（P.26）をご覧ください。

7 ［OK］をクリックします。

8 プロファイルリストから作成したプロファイル名を選択し、[再接続]をクリックして[TOP へ]をクリックします。

9 「xxxxxxxx のアクセスポイントに接続しています。」と表示されていることを確認します。

10 無線クライアントユーティリティの右上の☒をクリックします。

以上で設定は完了です。

ユーティリティの画面について

このPARTでは、設定ユーティリティの各画面について説明します。「機能を使いこなしたい」、「設定ユーティリティの詳しい情報が知りたい」という場合にご覧ください。

メニュー

本ソフトウェアの基本的な操作をすることができます。

「●メイン画面」(P.48)
「●無線アクセスポイント検索」(P.49)
「●接続先切替」(P.50)
「●アクセスポイントモード」(P.50)
「●無線停止」(P.52)
「●終了」(P.52)

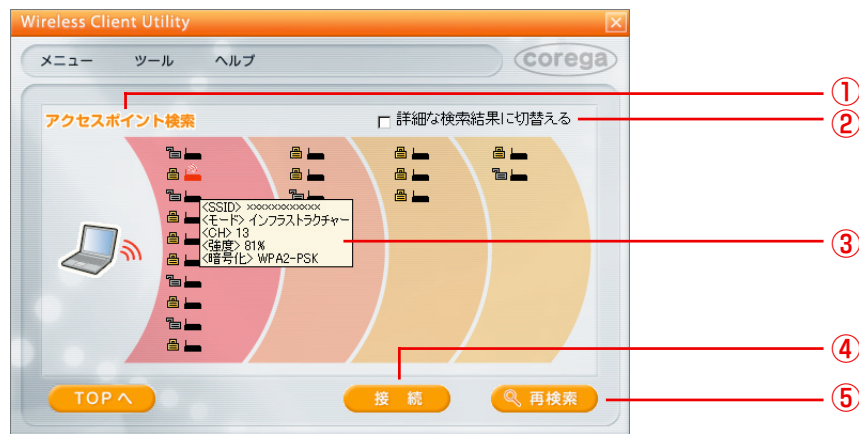
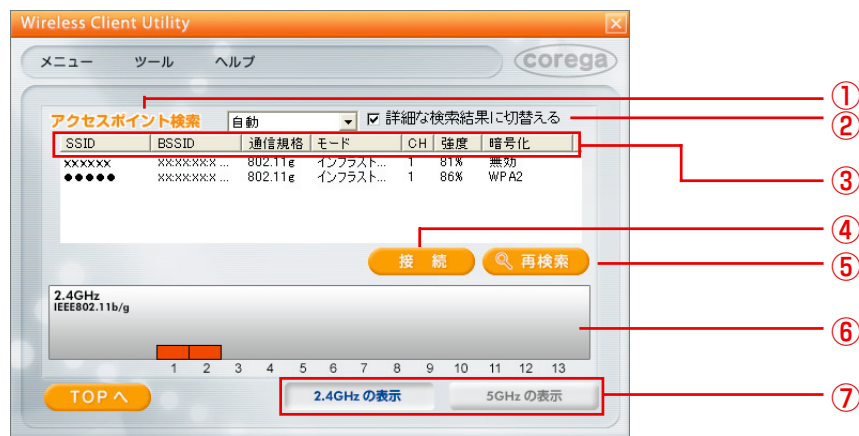
●メイン画面

現在の接続状態を表示します。

項目	内容
①スクロールウィンドウ	アクセスポイントとの接続状態、または「RSS」(P.60)で入力したRSS情報をスクロール表示します。
②接続状況	:インフラストラクチャーモードで接続しています。 :アドホックモードで接続しています。 802.11:接続中の802.11モードを表示します。 ch:接続しているチャンネルを表示します。 Mbps:リンク速度を表示します。 :無線セキュリティを設定していない接続です。 :無線セキュリティを設定している接続です。 プロファイル名:使用している「プロファイル名」(P.53)を表示します。 接続先:接続している「ネットワーク名(SSID)」を表示します。 IPアドレス:コンピュータが取得しているIPアドレスを表示します
③接続強度	接続しているの電波の強さをレベルで示します。
④[再接続]	クリックすると②接続状況で表示されている内容で再接続します。
⑤[検索]	周辺にある接続可能なアクセスポイント数を表示します。 [検索]をクリックすると、無線アクセスポイント検索画面(P.49)を表示します。
⑥[プロファイルの管理]	クリックするとプロファイル管理画面(P.53)を表示します。

●無線アクセスポイント検索

現在の接続可能な無線ネットワークを表示します。

画面1

画面2

項目	内容
①アクセスポイント検索	画面１はアクセスポイント（▬）の電波の強さをイメージ表示します（距離をイメージしているものではありません）。アクセスポイントにカーソルを合わせると③検索内容を表示します。 🔒 ：無線セキュリティが設定されているアクセスポイントです。 🔓 ：無線セキュリティが設定されていないアクセスポイントです。 画面２は一覧表示します。
②詳細な検索結果に切替える	クリックするとイメージ画面と一覧画面を切り替えます。
③検索内容	SSID ：アクセスポイントのネットワーク名（SSID)を表示します。 BSSID：アクセスポイントのMACアドレスを表示します。 通信規格：802.11モードを表示します。 モード ：アクセスポイントのモードを表示します。 CH ：使用しているチャンネルを表示します。 強度 ：電波の強さを表示します。 暗号化 ：設定されている暗号化の状態を表示します。
④[接続]	選択したアクセスポイントに接続します。
⑤[再検索]	接続可能なアクセスポイントを再検索します。
⑥チャンネル表示	チャンネルの混雑状態を表示します。
⑦802.11モード切替ボタン	クリックするとそれぞれの通信速度の⑥チャンネル表示が切り替わります。

●接続先切替

プロファイルリスト（P.53）に登録された接続先（プロファイル）に切り替えることができます。

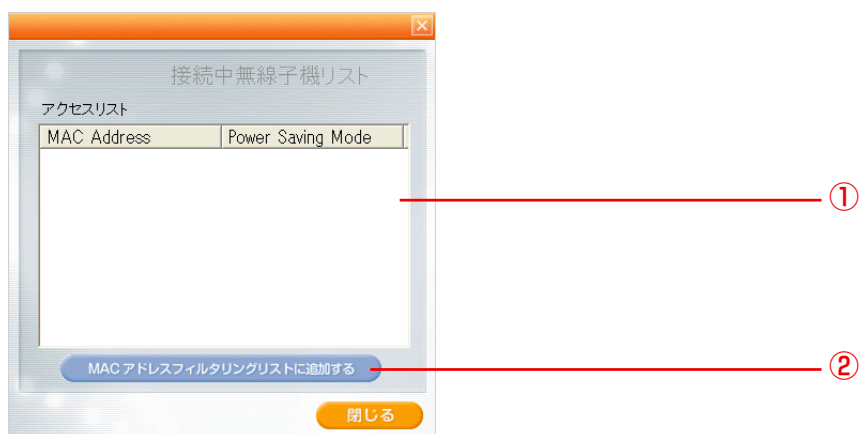
●アクセスポイントモード

携帯ゲーム機などでインターネット回線に接続したいときに使用します。詳しくは「●アクセスポイントモードを使うときは（対応機種のみ）」(P.34）をご覧ください。

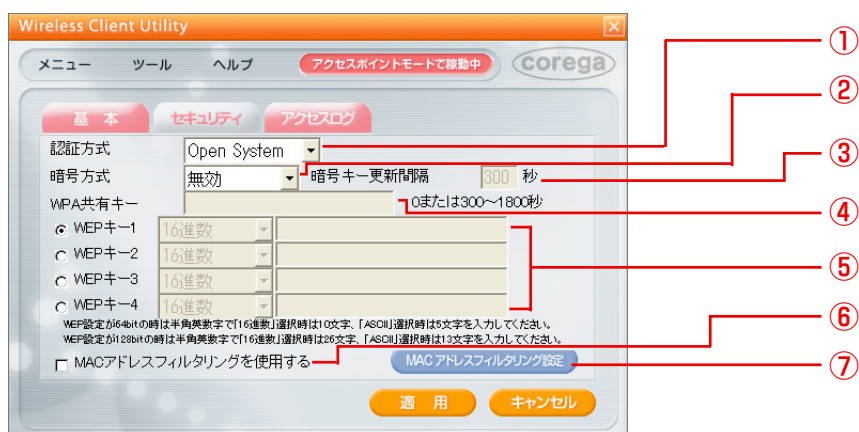
アクセスポイントモード ― 基本

アクセスポイントモードの設定ができます。

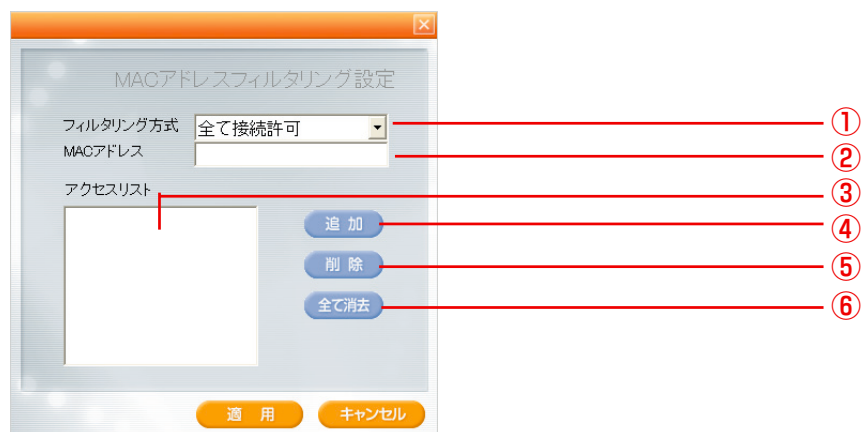
項目	内容
①接続モード	802.11 モードを設定します。
②チャンネル	使用するチャンネルを設定します。
③ビーコン間隔	ビーコンの送信タイミングを設定します。
④電波強度	無線電波の出力を設定します。
⑤転送レート	無線の転送速度を設定します。
⑥プリアンブル	LAN に接続しているインターフェイスにフレーム送信の開始を認識させ、同期するための信号を設定します。
⑦ネットワーク名（SSID）	アクセスポイントとしてのネットワーク名(SSID)を設定します 。
⑧[ネットワーク名(SSID)に MAC アドレスを使用する]	クリックするとアダプタのMACアドレスを⑦に表示させ、ネットワーク名(SSID)として使用できます。
⑨接続中の子機の数	現在接続中のクライアント数を表示します。
⑩[詳細情報]	クリックすると「接続中無線子機リスト」（P.51）を表示し、クライアントの MAC アドレスを確認できます。
⑪ステルス AP 機能	チェックを付けると無線クライアントからの AP 検索で SSID 名を隠します。
⑫無線子機間での通信を許可しない	チェックを付けるとクライアント同士の通信ができなくなります。
⑬ブリッジ先のアダプター	インターネットに接続する（モデムに接続している）LAN アダプタを選択します。

〈接続中無線子機リスト〉

項目	内容
①アクセスリスト	接続中のクライアントのMACアドレスを表示します。
②[MACアドレスフィルタリングリストに追加する]	クリックすると選択したクライアントの情報を「MACアドレスフィルタリング設定」（P.52）に追加します。

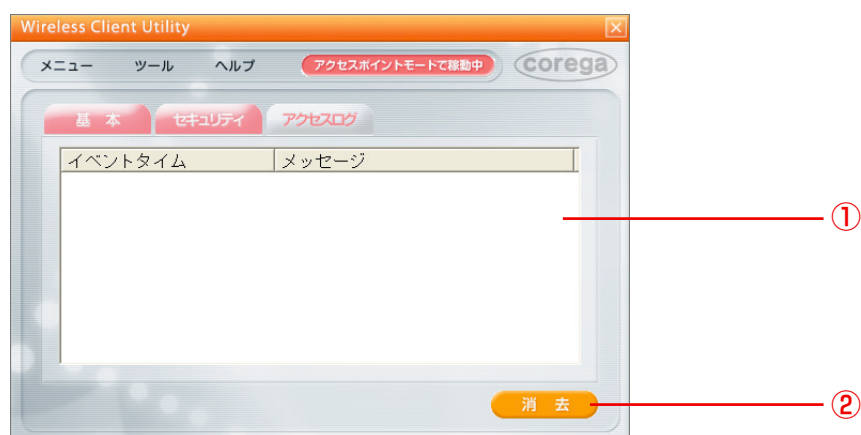
アクセスポイントモード ― セキュリティ

アクセスポイントモードのセキュリティ設定をすることができます。

項目	内容
①認証方式	セキュリティの認証方式を設定します。
②暗号方式	セキュリティの暗号方式を設定します。
③暗号キー更新間隔	暗号キーの更新間隔を設定します。
④WPA共有キー	WPAの共有キーを設定します。
⑤WEPキー	WEPキーを設定します。
⑥MACアドレスフィルタリングを使用する	チェックを付けるとMACアドレスフィルタリングを有効にします。
⑦[MACアドレスフィルタリング設定]	クリックすると「MACアドレスフィルタリング設定」（P.52）を表示します。

〈MACアドレスフィルタリング設定〉

フィルタリング対象のMACアドレスを設定します。

項目	内容
①フィルタリング方式	フィルタリングのルールを設定します。
②MACアドレス	フィルタリングしたいMACアドレスを入力します。
③アクセスリスト	登録されているMACアドレス一覧を表示します。
④[追加]	②で入力したMACアドレスを③に追加します。
⑤[削除]	③に表示されたMACアドレスを選択して［削除］をクリックすると、アクセスリストを削除します。
⑥[全て消去]	クリックするとアクセスリストをすべて削除します。

アクセスポイントモード — アクセスログ

クライアントのアクセス状況を表示します。

項目	内容
①アクセスログ	アクセスログを表示します。
②[消去]	表示中のアクセスログを消去します。

●無線停止

選択すると無線LANアダプタから無線の送受信を停止させることができます。

●終了

選択すると本ソフトウェアが終了し、タスクトレイからが消えます。
再度本ソフトウェアを起動する場合は、「スタート」ー「すべてのプログラム」（Windows 2000では「プログラム」）ー「コレガ無線LANユーティリティ」ー「無線クライアントユーティリティ」の順にクリックして起動します。

ツール

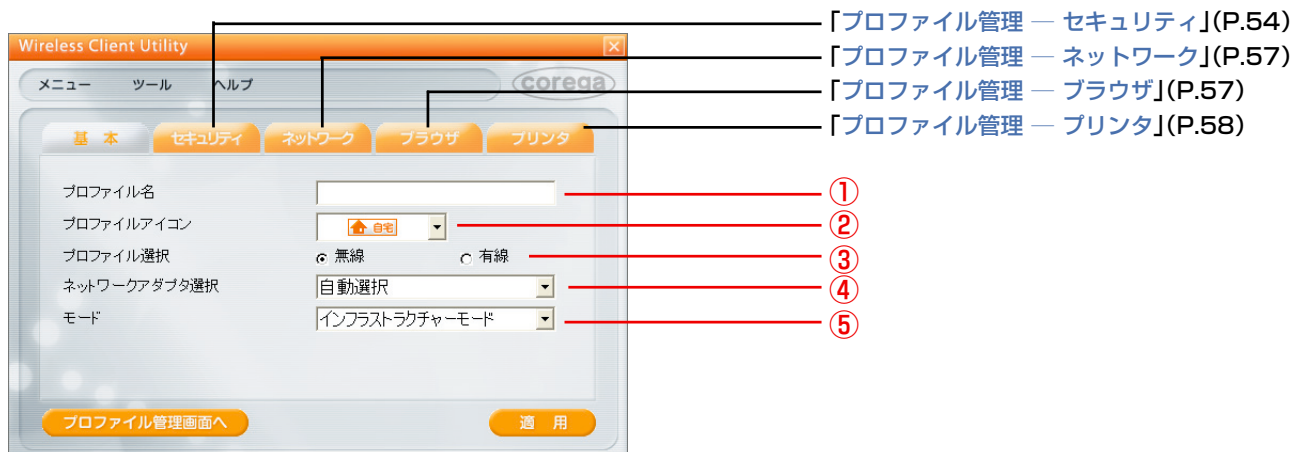
アクセスポイントへの接続設定を管理するプロファイルの編集ができます。ネットワークやブラウザの設定もできます。

●プロファイル管理

プロファイルの操作を行います。

項目	内容
①プロファイルリスト	登録されているプロファイルが表示されます。 ▲：プロファイルの優先順位を上げます。 ▼：プロファイルの優先順位を下げます。
②プロファイルアイコン	設定しているプロファイルアイコンを表示します。
③プロファイル名	設定しているプロファイル名を表示します。
④モード	設定している接続モードを表示します。
⑤ネットワーク名	使用しているネットワーク名（SSID）を表示します。
⑥チャンネル	使用しているチャンネルを表示します。
⑦暗号方式	設定された無線セキュリティの種類を表示します。
⑧接続するプロファイルを固定する	①でプロファイルを選択して をクリックするとプロファイルを固定します。ほかの接続プロファイルで接続できません。
⑨[削除]	①でプロファイルを選択して［削除］をクリックすると、プロファイルを削除します。
⑩[編集]	①でプロファイルを選択して［編集］をクリックすると、プロファイル管理ー基本画面（P.54）を表示し、設定内容を変更します。
⑪[再接続]	①でプロファイルを選択して［再接続］をクリックすると、接続を再開します。
⑫[新規追加]	クリックすると接続方法選択画面（P.11）を表示します。新しいプロファイルを作成できます。

プロファイル管理 ― 基本

プロファイル名や接続モードなどの設定ができます。

項目	内容
①プロファイル名	任意でプロファイル名を入力できます。
②プロファイルアイコン	設定を分類するためのアイコンを選択します。
③プロファイル選択	「無線」または「有線」のどちらを使ったネットワーク接続かを選択します。
④ネットワークアダプタ選択	このプロファイルで使用するネットワークアダプタを選択します。
⑤モード	「アドホックモード」または」「インフラストラクチャモード」のどちらかを使ったネットワーク接続かを選択します。

プロファイル管理 ― セキュリティ

無線セキュリティの設定ができます。設定画面は無線セキュリティの種類によって異なります。

■無線設定なし

項目	内容
①ネットワーク名(SSID)	接続先のネットワーク名(SSID)を半角英数字および半角記号の32文字以内で入力します。
②認証方式	無線セキュリティの種類を選択します。
③暗号方式	暗号の種類を選択します。

■WEPで設定する場合

項目	内容
①ネットワーク名(SSID)	接続先のネットワーク名(SSID)を半角英数字および半角記号の32文字以内で入力します。
②認証方式	無線セキュリティの種類を選択します。
③暗号方式	暗号の種類を選択します。
④入力方式	暗号キーの入力方法を選択します。
⑤キー	使用する暗号を1～4の中から選択します。 ※③で128Bitを選択した場合は、キー1のみ使用できます。

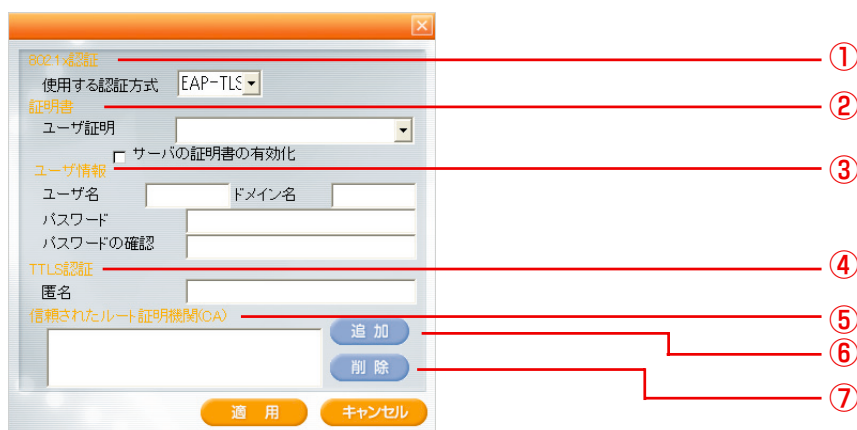
■WPA-PSK、WPA2-PSKで設定する場合

項目	内容
①ネットワーク名(SSID)	接続先のネットワーク名(SSID)を半角英数字および半角記号の32文字以内で入力します。
②認証方式	無線セキュリティの種類を選択します。
③暗号方式	暗号の種類を選択します。
④入力方式	暗号キーの入力方法を選択します。
⑤共有キー	④に従って暗号キーを入力します。

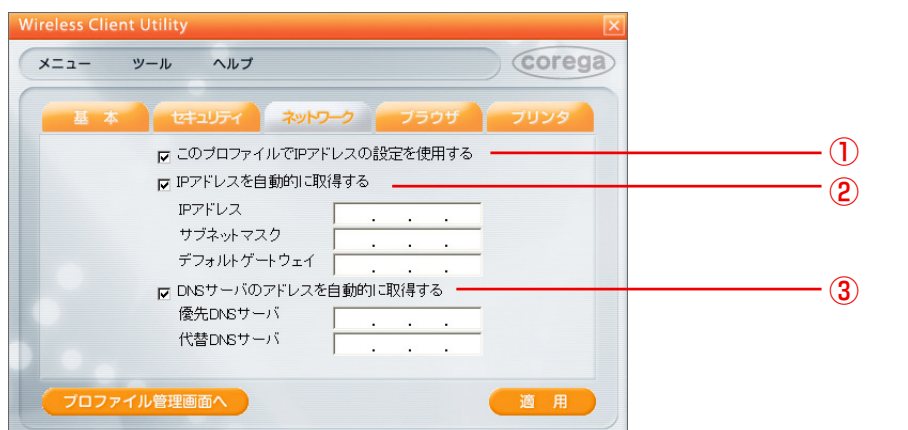
■WPA-EAP、WPA2-EAPで設定する場合

項目	内容
①ネットワーク名(SSID)	接続先のネットワーク名(SSID)を半角英数字および半角記号の32文字以内で入力します。
②認証方式	無線セキュリティの種類を選択します。
③暗号方式	暗号の種類を選択します。
④[802.1x 設定]	クリックすると「802.1x 設定」(P.56)を表示します。

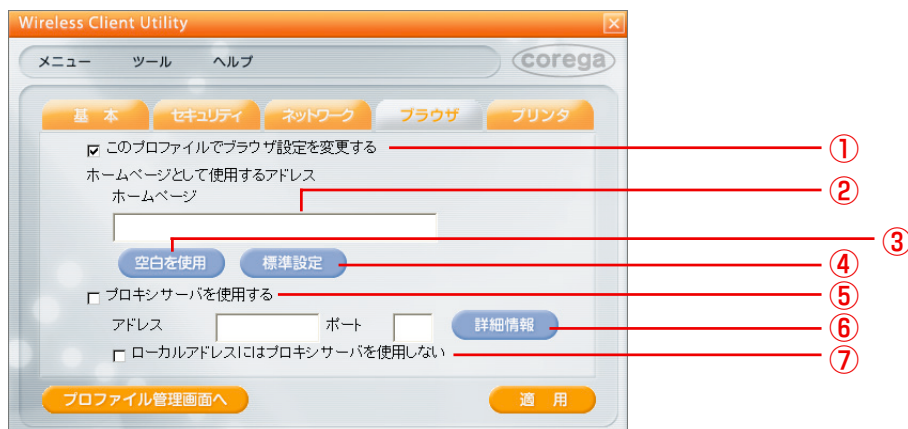
〈802.1x設定〉

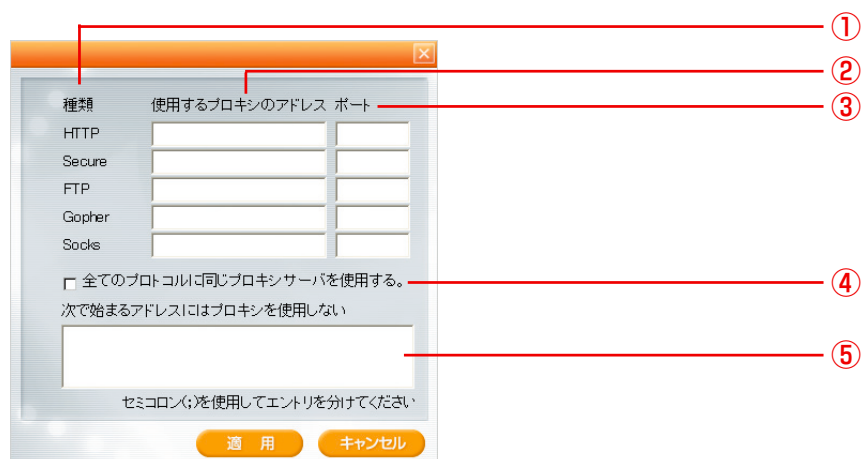
802.1X 認証の設定をすることができます。

項目	内容
① 802.1x 認証	使用する認証方式:EAP の種類と内部認証プロトコルを選択します。
②証明書	ユーザ証明:証明書を選択します。 サーバの証明書の有効化:証明書を使用する場合にチェックを付けます。
③ユーザ情報	認証に必要な情報を入力します。この情報はシステム管理者へお問い合わせください。 ユーザ名:認証に使用するユーザ名を入力します。 ドメイン名:認証に使用するドメイン名を入力します。 パスワード:認証に使用するパスワードを入力します。 パスワードの確認:確認のため同じパスワードを入力します。
④ TTLS 認証	匿名:EAP-TTLS の場合の内部認証で使用する匿名を入力します。
⑤信頼されたルート証明機関	設定済みのルート証明機関を表示します。
⑥[追加]	クリックすると、別のルート証明機関を追加します。
⑦[削除]	⑤でルート証明機関を選択して[削除]をクリックすると、ルート証明機関を削除します。

プロファイル管理 ― ネットワーク

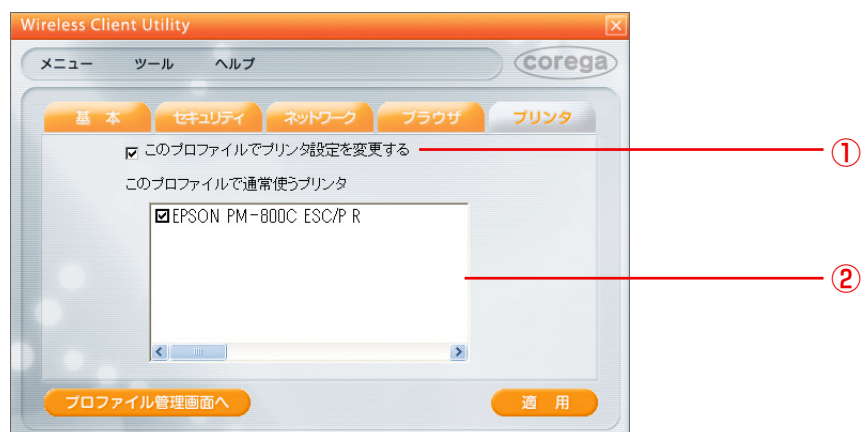
プロファイルごとに使用するネットワークの設定ができます。

項目	内容
①このプロファイルでIPアドレスの設定を使用する	チェックを付けると②、③が設定できます。
②IPアドレスを自動的に取得する	チェックを付けるとDHCPサーバからIPアドレスを自動取得します。 チェックを外すとIPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイに入力した設定値に固定します。
③DNSサーバのアドレスを自動的に取得する	チェックを付けるとDNSサーバからIPアドレスを自動取得します。 チェックを外すと優先DNSサーバ、代替DNSサーバに入力した設定値に固定します。

プロファイル管理 ― ブラウザ

プロファイルごとにInternet Explorerの設定ができます。

項目	内容
①このプロファイルでブラウザ設定を変更する	チェックを付けると②〜⑦で設定した内容を使用します。
②ホームページとして使用するアドレス	Internet Explorerを起動したときに表示するサイト（ホームページ）のURLアドレスを入力します。
③[空白を使用]	ホームページのURLアドレスを空白にします（「About:blank」と表示されます）。
④[標準設定]	ホームページがコレガホームページになります（「http://corega.jp/」と表示されます）。
⑤プロキシサーバを使用する	チェックを付けると、入力したプロキシアドレスとポートを使用します。
⑥[詳細情報]	「詳細情報」（P.58）を表示します。
⑦ローカルアドレスにはプロキシサーバを使用しない	チェックを付けると、ローカルアドレスに接続する場合にはプロキシサーバを使用しません。

《詳細情報》
Internet Explorerのプロキシ設定を変更できます。

項目	内容
①種類	プロトコルの種類です。プロトコル別にプロキシサーバを設定できます。
②使用するプロキシのアドレス	各プロトコルに対応したプロキシアドレスを入力します。
③ポート	各プロトコルに対応したプロキシポートを入力します。
④全てのプロトコルに同じプロキシサーバを使用する	チェックを付けるとHTTPに設定されたプロキシサーバ情報をすべてのプロトコルに設定します。
⑤次で始まるアドレスにはプロキシを使用しない	プロキシサーバを使用しないアドレスを入力します。複数入力する場合は、"；"を使用して分けてください。

プロファイル管理 ― プリンタ

プロファイルごとに通常使うプリンタとして設定できます。

項目	内容
①このプロファイルでプリンタ設定を変更する	チェックを付けると、②で設定するプリンタをこのプロファイルで使用できます。
②このプロファイルで通常使うプリンタ	パソコンに登録されているプリンタが表示されます。チェックを付けて通常使うプリンタを選択します。

●その他の設定

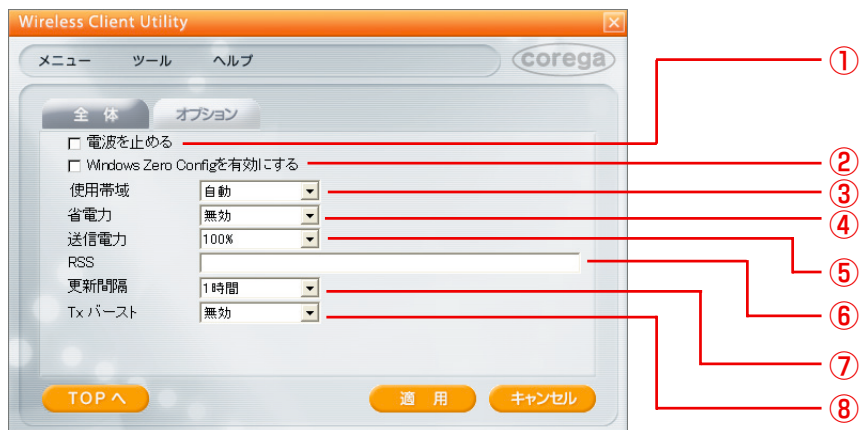
プロファイルの保存、読み込みや、本ソフトウェアの詳細な設定ができます。

その他の設定 — 全体

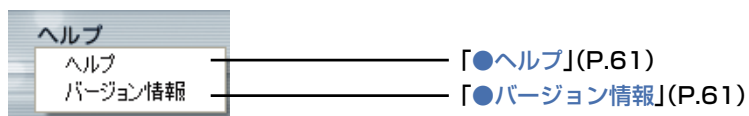
プロファイル管理画面（P.53）で作成した設定の保存や、本ソフトウェアの表示設定を変更することができます。

項目	内容
① Windows 起動時に自動的に常駐する	チェックを付けるとパソコンを起動したときに本ソフトウェアが起動します。
②常に手前に表示する	チェックを付けると常に本ソフトウェアの画面が一番手前に表示されます。
③言語パッケージ	表示言語を変更します。 ※「日本語」のみ表示されます。
④[プロファイルのロック]	クリックしてパスワードの設定をすると、プロファイルの新規作成、編集、削除ができなくなります。
⑤[プロファイルの書き出し]	登録したプロファイルをバックアップします。
⑥[プロファイルの初期化]	登録したすべてのプロファイルを削除します。
⑦[プロファイルの読み込み]	バックアップしたプロファイルを読み込みます。
⑧スクロール速度	メイン画面（P.48）に表示されるスクロール速度を変更できます。

その他の設定 — オプション

本ソフトウェアの詳細な設定ができます。

項目	内容
①電波を止める	チェックを付けると無線の電波を止めます。
② Windows Zero Config を有効にする	チェックを付けると Windows XP の Zero Config を使用できます。
③使用帯域	使用帯域を固定させたいときに選択します。 ※初期値では「自動」に設定されています。
④省電力	消費電力を抑えるように設定できます。 ※初期値では「無効」に設定されています。
⑤送信電力	送信電力の強さを設定できます。 ※初期値では「100%」に設定されています。
⑥ RSS	RSS 情報のアドレスを入力します。設定したアドレスから取得した情報はメイン画面（P.48）のスクロールウィンドウに表示されます。
⑦更新間隔	RSS 情報の取得間隔を設定します。 ※初期値では「1 時間」に設定されています。
⑧ －	パソコンに認識された無線LANアダプタに搭載されている機能が表示されます。
Tx バースト	通信を圧縮させ効率のよい通信をする機能です。
Super モード	「有効」にすると通信時にバースト転送およびデータ圧縮をして通信速度を向上させます。 ※接続先の機器が「Super モード」「Super A/G」「Super G」のいずれかに対応している必要があります。
eXtended Range	「有効」にすると通信範囲が広がり、より安定した通信ができます。 ※接続先の機器が「eXtended Range」に対応している必要があります。

ヘルプ

本ソフトウェアの各画面の解説やバージョン情報を表示します。

●ヘルプ

本ソフトウェアの設定項目の解説が掲載されています。

●バージョン情報

本ソフトウェアと現在パソコンに認識している無線LANアダプタのドライババージョンが表示されます。お使いの無線 LAN アダプタによって表示されるバージョンが異なります。

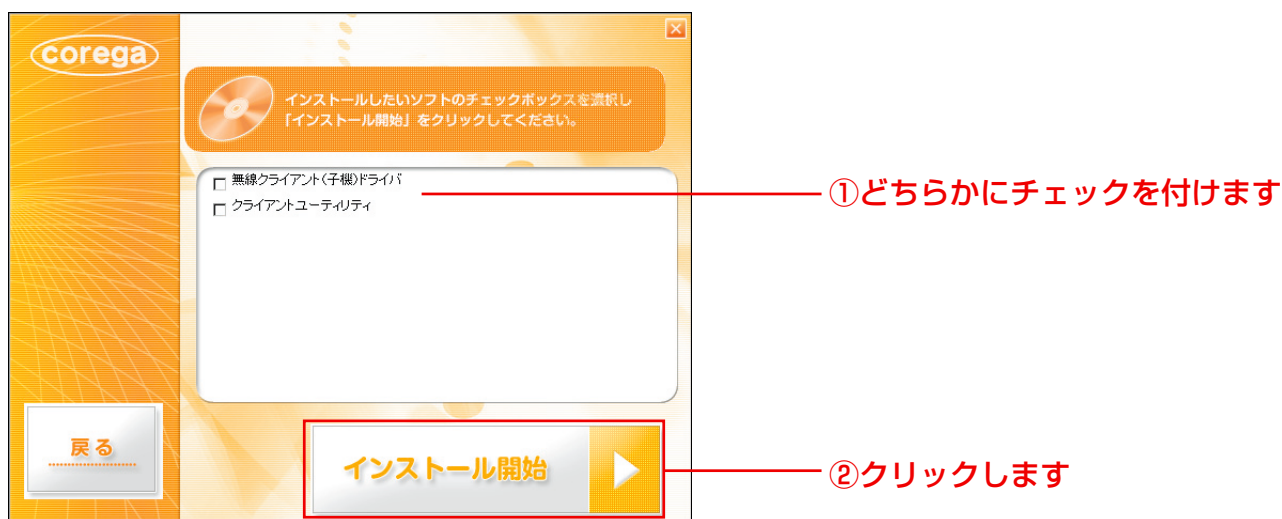
オプションについて

ユーティリティディスクをパソコンのCD-ROMドライブにセットすると､本ソフトウェアのトップ画面が表示されます。画面の［オプション］をクリックすると、無線LANアダプタと無線クライアントユーティリティを個々にインストールしたり、アンインストールすることができます。

●カスタムインストールする

1　［オプション］をクリックします。

2　［上級者向けインストール］をクリックします。

3 インストールしたい項目にチェックを付けて、[インストール開始]をクリックします。

4 選択した項目のインストールが始まります。このあとは選択した項目にあわせて本書をお読みください。

・「無線クライアント（子機）ドライバ」 → 「インストール手順」の手順５（P.6）へ
・「クライアントユーティリティ」 → 「インストール手順」の手順１０（P.9）へ

●ドライバを削除する

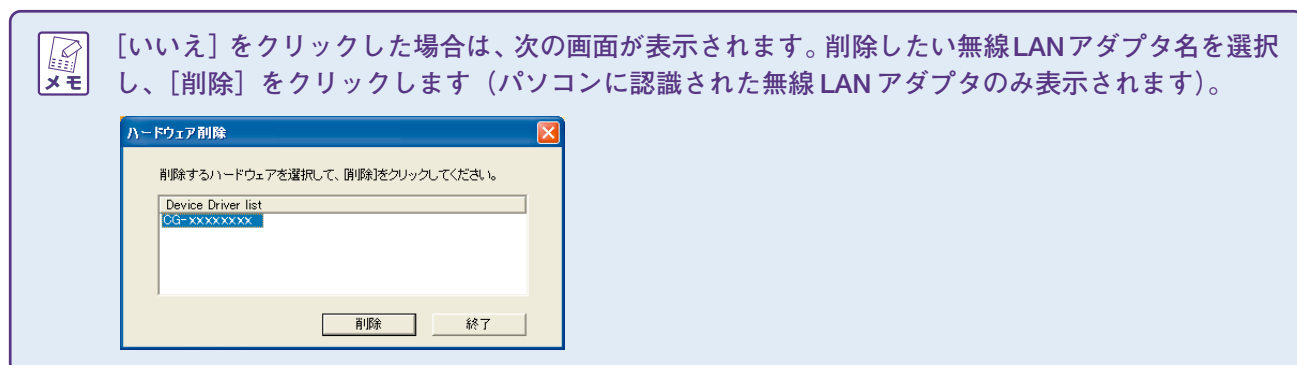
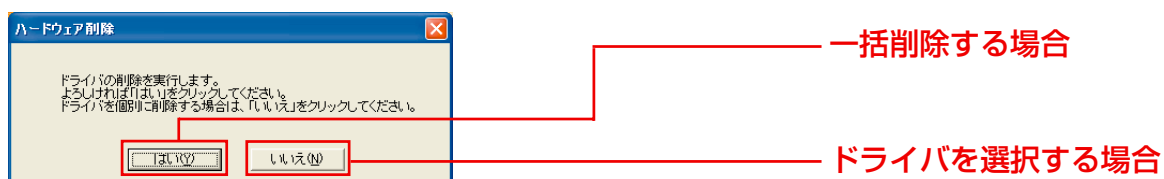
1 [オプション]をクリックします。

2 ［ドライバの削除］をクリックします。

3 ［ドライバ削除ツールを実行する］をクリックします。

Windows Vista の場合は手順 5 に進みます。

4 Windows XP/2000 の場合、すべてのコレガ製無線 LAN アダプタのドライバを削除する場合は［はい］を、機種を指定して削除する場合は［いいえ］をクリックします。

［いいえ］をクリックした場合は、次の画面が表示されます。削除したい無線 LAN アダプタ名を選択し、［削除］をクリックします（パソコンに認識された無線 LAN アダプタのみ表示されます）。

5 ドライバの削除が開始されます。完了するまでお待ちください。

Windows VistaでWPSを使って接続できない(CG-WLCB54GSX、CG-WLUSB2GSのみ)

●ワイヤレスネットワーク接続のプロパティを確認してください

お使いのパソコンによっては、WPS接続に影響を与えるドライバがインストールされています。そのため、次の手順に従って、いったん不要なドライバを使用しないように設定します。

1 無線 LAN アダプタをパソコンに取り付け、[スタート] －「ネットワーク」をクリックします。

2 「ネットワークと共有センター」をクリックします。

3 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

4 「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

「ワイヤレスネットワーク接続」が複数ある場合は、お使いの無線LANアダプタが表示されているものを選択します。

5 「ユーザーアカウント制御」画面が表示されますので、[続行] をクリックします。

6 「ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ」画面が表示されます。次の項目以外のチェックを外して、[OK] をクリックします。

チェックを残す項目
・Microsoft ネットワーク用クライアント
・Jumpstart Wireless Filter Driver
・インターネットプロトコルバージョン 4（TCP/IPv4）

7 「● Wi-Fi Protected Setup で接続する」（P.12）の手順で WPS 接続します。

8 接続できたら、手順 6 の画面を再度表示させ、チェックを外した項目にチェックを付けて元に戻し、[OK] をクリックします。

9 開いている画面をすべて閉じます。

おことわり

・本書は、株式会社コレガが作成したもので、すべての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。
・予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
・改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。

本商品は国内仕様となっており、外国の規格などには準拠しておりません。日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

2007年1月　初版
2007年9月　第二版